

堺市の経営ビジョンと財政状況



平成22年11月22日、ユネスコ世界遺産暫定一覧表に記載された百舌鳥古墳群

第11回市場公募地方債
発行団体合同IR説明会
平成24年10月26日
東京国際フォーラム

ごあいさつ



投資家の皆様におかれましては、平素から堺市政の各般にわたり温かいご理解とご協力をいただいておりますことに、心から厚くお礼申し上げます。

本市は、広域的な産業振興をはじめ、観光、文化振興や防災などの取組みを積極的に推進するため、本年4月23日に関西広域連合へ加入いたしました。関西広域連合における取組みを通じまして、全国の皆様に堺の魅力を発信し、関西における堺市のプレゼンス、政令指定都市・堺の認知度、存在感を高めてまいりたいと考えております。

さて、堺市では、新たな飛躍に向けて様々な取組みが進行しています。本市の臨海部において、一昨年に開設しました国内最大規模を誇るサッカー・ナショナルトレーニングセンター「J-GREEN(グリーン)堺」が賑わいを見せており、この4月には、世界に通用する女子サッカー選手の育成をめざす「JFAアカデミー堺」が開校いたしました。

また、液晶パネル工場をはじめとする最先端工場群「グリーンフロント堺」や日本最大級のメガソーラー「堺太陽光発電所」が竣工するとともに、泉北ニュータウンではエコモデルタウンの創出に取り組むなど「環境モデル都市」として低炭素社会に向けた先進的な取組みが進んでおります。

さらに、ユネスコの「アジア太平洋無形文化遺産研究センター」の開設や、「ベトナム社会主義共和国総領事館」に次いで「シンガポール共和国総領事館」が設置されるなど、国際的な知名度の向上や国際交流の促進に向け期待が持てる機能が集まってきており、全国でも元気なまちのひとつと言われております。

今後、仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群の早期の世界文化遺産登録をめざすほか、都心地域のまちづくりや泉北ニュータウンの再生、更なる企業立地の推進に取り組むなど、本市のまちづくりの指針である「堺市マスタープラン」に掲げる基本理念、基本政策をもとに、誰もが夢や希望が持てる持続可能なまちの創造をめざして積極的な政策展開を図ってまいります。

どうか皆様には、これからも堺の更なる飛躍と発展のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



堺市長 竹山修身

【プロフィール】

昭和50年4月	大阪府庁就職
平成14年4月	行政改革室長
平成17年4月	府議会事務局長
平成20年4月	商工労働部長
平成21年4月	政策企画部長
平成21年10月	堺市長就任

目次

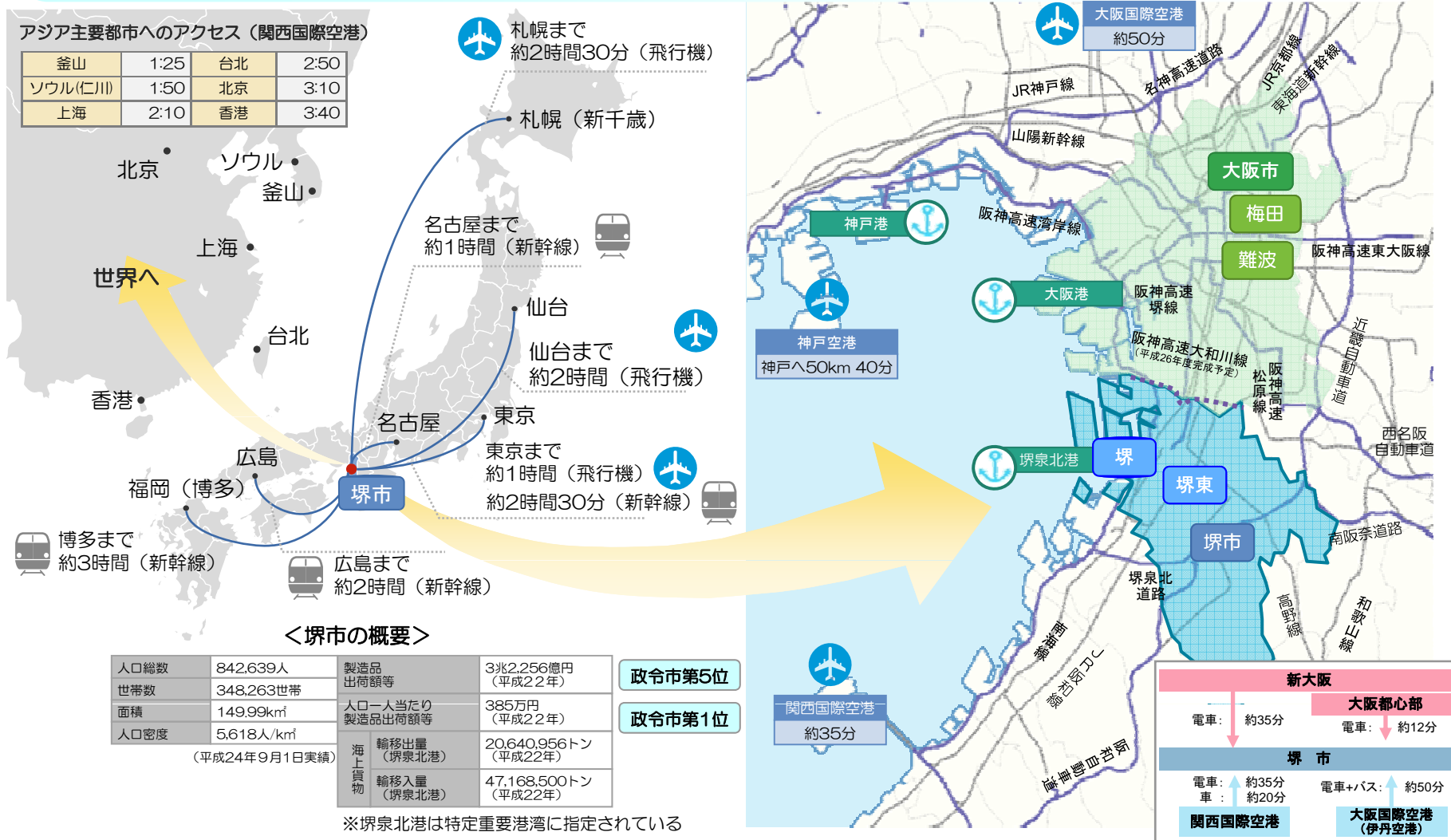


I. 堺市のプロフィール	… 4
II. 堺市の市政運営について	… 8
III. 堺市の財政状況について	… 22
IV. 堺市債について	… 39

I. 堺市のプロフィール①



◆ 関西圏2,000万人の巨大消費地のほぼ中心に位置する本市は、海外・国内主要地域へのアクセス性が極めて高い陸・海・空の交通ネットワークを有する



I. 堺市のプロフィール②



◆ 臨海部、都心市街地、内陸部、丘陵部の4つの地域にそれぞれ特徴をもった産業が集積

臨海部

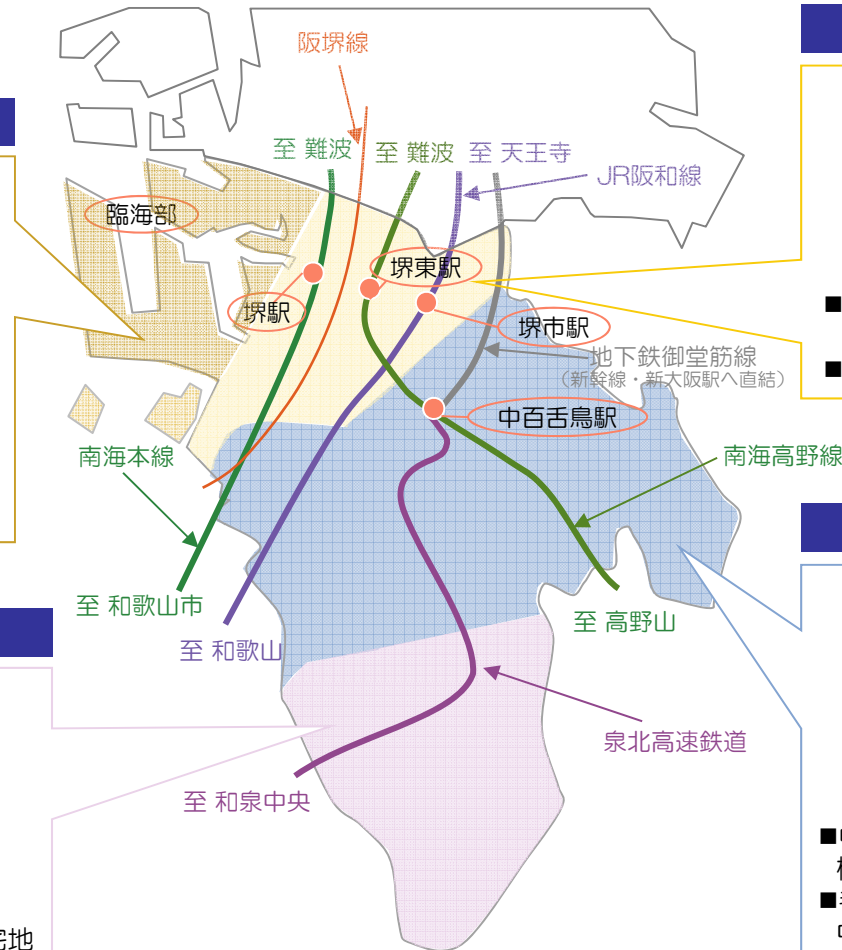


■グリーンフロント堺に代表される先端企業や関西電力（太陽光発電所）など優れた環境技術を有する企業が立地

丘陵部



■1960年代後半以降に開発された住宅地（泉北ニュータウン）
■大阪府で生産量第一位を誇る農業地域



都心市街地



■古くからの市街地で、商業、業務地が形成
■機械・金属関連の工業集積地も存在

内陸部



■中百舌鳥周辺には中小企業の総合支援機関や大学等の学術研究機関が集積
■毛穴地区、美原地区には中小企業を中心とした工業集積地が形成

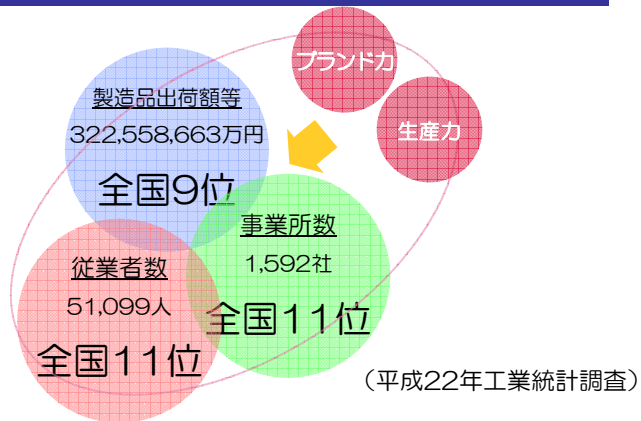
I. 堺市のプロフィール ③



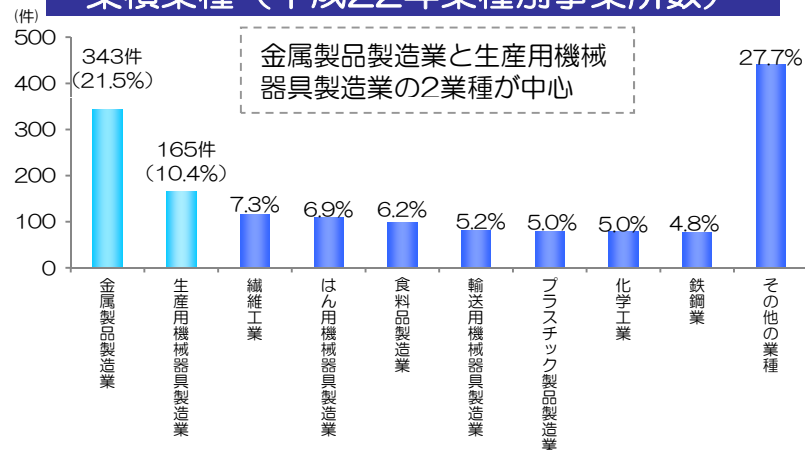
◆ 製造品出荷額等で全国第9位（前年10位）の工業都市

➤ 政令市平均と比べて、従業者、事業所ともに製造業の比率が高いのが特徴

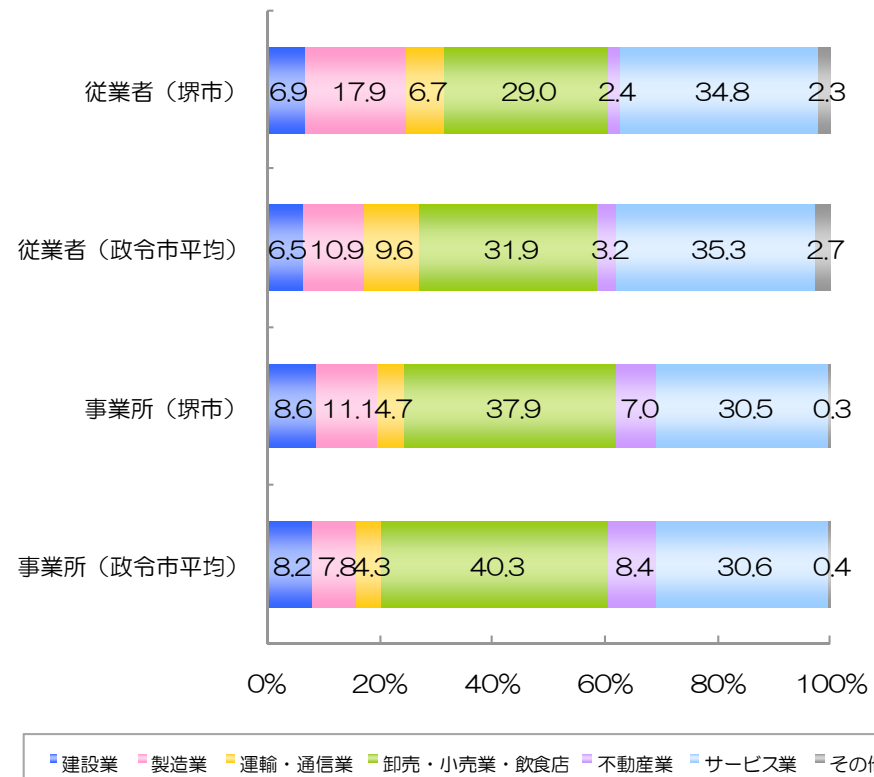
堺の工業集積力



集積業種（平成22年業種別事業所数）



産業構造の特徴



(平成21年経済センサス)



「さかい」の名前の由来、知っていますか？

突然ですが、みなさん、「さかい」の名前の由来って知っていますか。

実は、平安時代、この地が、摂津・河内・和泉の三国の「境（さかい）」に位置しているところから「さかい」と呼ばれるようになったんです。

ちなみに、市章もこの三つの国境に発達した都市という意味で、「市」の字を三つ組み合わせたものです。

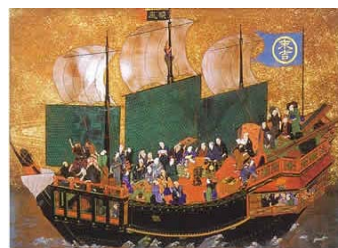
そのほか、プロフィールではご紹介できなかった「堺市」を少しご紹介します。



堺市の歴史

- ◆ 堺市周辺に人が定住し始めたのは旧石器時代のころ。市内の遺跡からは、約1万年前の打製石器や、縄文時代の土器・石器、弥生時代の銅鐸・土器などが発掘されています。4～5世紀には大和朝廷が成立しましたが、堺には仁徳天皇陵古墳をはじめ、100数基から成る百舌鳥古墳群が造られました
- ◆ 鎌倉時代には漁港として発達し、その後西日本の海運の拠点として発展していきます

- ◆ そして戦国時代、堺は貿易港として黄金の時代を迎えます。この時代、堺は、対明貿易や南蛮貿易など海外との交流拠点として発展しました。当時の堺は世界でも珍しい環濠都市を形成し、自治都市として繁栄しました



アユタヤから帰国する朱印船の図

- ◆ 明治以後、近代工業の発展、人口の増大、市域の拡大、交通の発達など、急速に近代化が進み、今日も力強い発展を続けています

堺市の史跡



<旧堺燈台>

- ◆ 旧堺燈台は、現存する日本最古の木造洋式灯台です（左写真）
- ◆ 昭和47年に国の史跡に指定され、今なお、堺のシンボルの一つとして保存されています

<浜寺公園駅駅舎>

- ◆ 辰野片岡事務所の設計により明治40年に建てられた私鉄最古の駅舎です
- ◆ ハーフティンバー様式の外観は、柱や梁が幾何学的にデザインされており、学術的にも高い評価を得ています



<土塔（どとう）>

- ◆ 「土塔」は、奈良時代に堺市出身の僧行基らによって土で築かれた日本で唯一の仏塔で、昭和28年国の史跡に指定されました
- ◆ 平成21年4月、復元整備によって創建当時の姿が再現されました

Ⅱ. 堺市の市政運営について



(1) 堺市産業の振興 … 9

(2) 「クールシティ・堺」の実現に向けて！ … 14

(3) 行財政改革の取組 … 15

(4) めざすべき堺の将来像 … 18

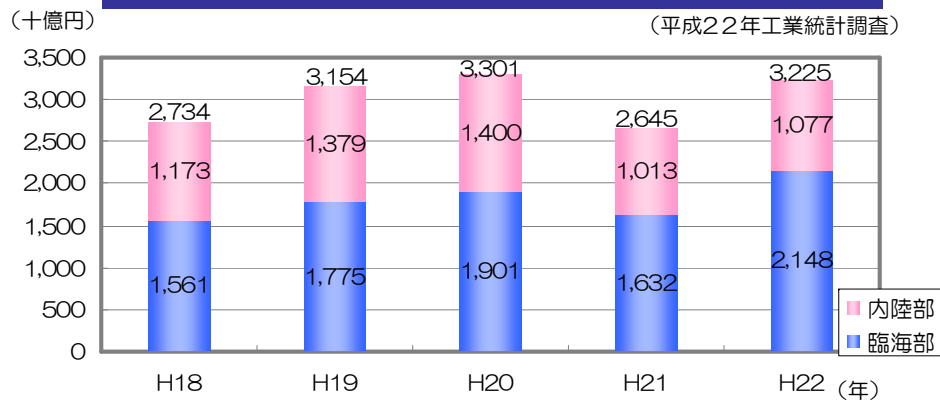
(1) 堺市産業の振興① ～活発な製造業～ 古くからものづくりの伝統を継承



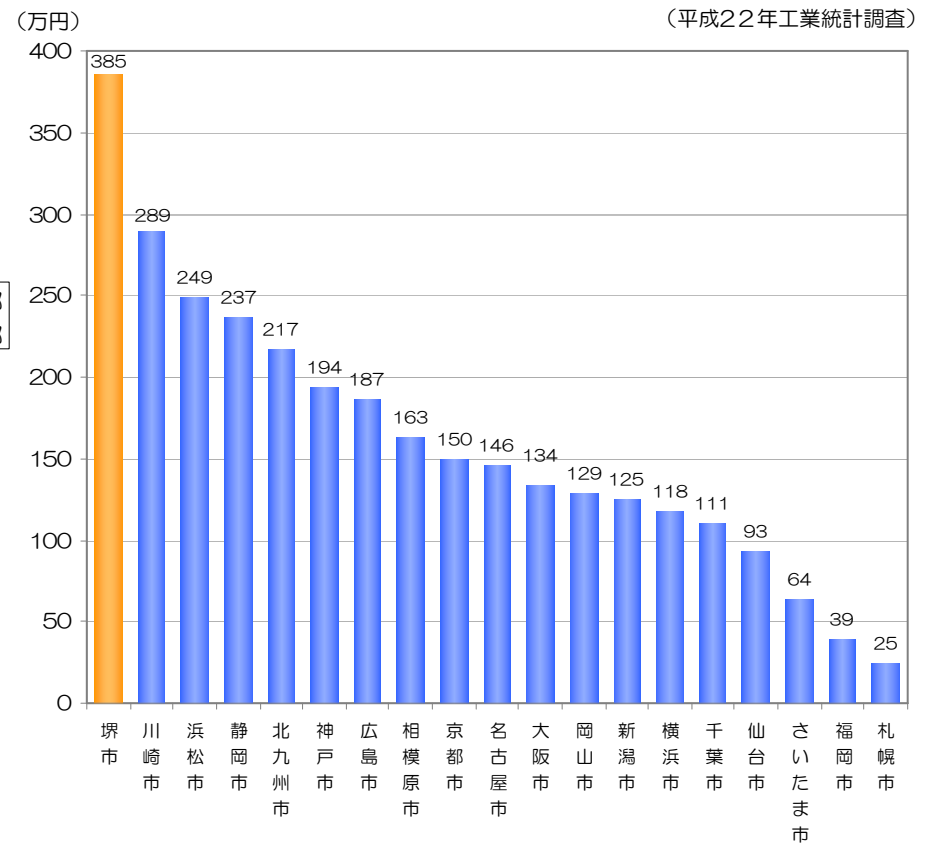
- ◆ 製造品出荷額等は、前年より22.0%の増加とくに臨海部での伸びが際立った
- ◆ 平成18年との比較では、政令市平均を大きく上回る伸びを示す

- ◆ 人口一人当たり製造品出荷額等は、昨年に引き続き、19政令市中第1位

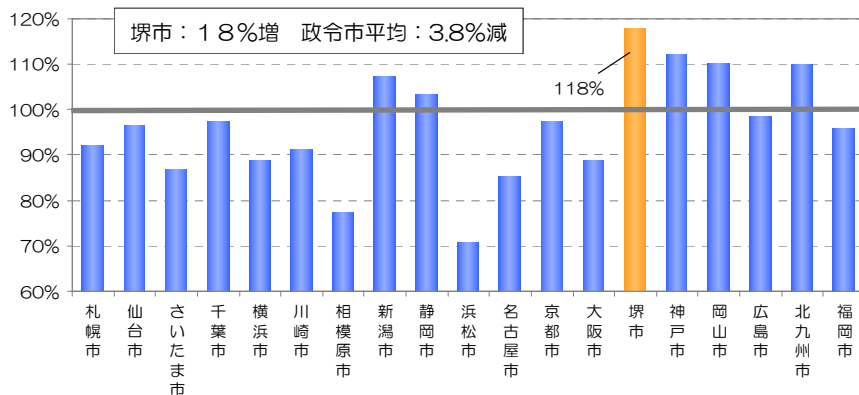
製造品出荷額等の推移（従業員4人以上）



人口一人当たり製造品出荷額等（従業員4人以上）



製造品出荷額等の増加率（平成18年と22年比較）



(1) 堺市産業の振興② ～企業の誘致施策～



◆企業立地促進条例（平成17年）

不均一課税（税の軽減）を採用、その上限を設定していない点など、全国でもトップレベルのインセンティブ
域内既存企業の再投資の活性化、及び新規の大規模な企業投資の誘致に成功

◆工場立地法地域準則条例（平成18年）

関西初の緑地規制の緩和（工業専用地域、工業地域で25%→15%）

認定実績（平成17年12月～平成24年3月）

認定件数	65社
投資見込額 (条例認定分)	約9,200億円
雇用見込数 (うち市内居住数)	約4,900人 (約1,560人)

【条例認定企業の投資による経済波及効果額】

1兆3,214億円

市外への出荷額増加による効果（フル稼働ベース：年間）

（堺市委託調査業務「平成22年度企業立地波及効果調査検討業務」より）

平成24年3月 新たに**3社**（投資総額**105億円**）を認定

堺市への企業本社の流入

✓ 平成23年中の企業本社の転入超過件数は18社で、**全国市区町村中第8位**

✓ 過去10年間の企業本社の転入超過件数は72社で、**大阪府内第1位**

（帝国データバンク調べ）

更なる企業投資の促進

拡充 企業立地促進条例の対象区域を**内陸部まで拡大** 平成26年度まで延長

新規 中小企業による**研究開発型工場**の立地支援（総投資額の5%補助・限度額10億円）

拡充 都心地域における業務系機能等の集積促進に加え、**製造過程を見せる小売業等**の進出支援

(1) 堺市産業の振興③ ~グリーンフロント堺・堺浜テクノパーク~



グリーンフロント堺

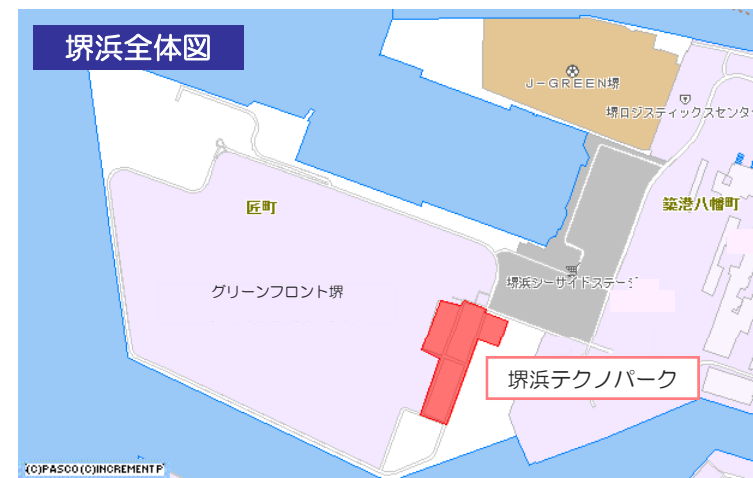
- ◆ 堺浜臨海部に127万㎡の敷地面積（堺市堺区匠町）
- ◆ 省エネの第10世代液晶パネル工場と創エネの太陽電池工場を併設する世界最大規模の“環境先進ファクトリー”
- ◆ 鴻海(ホンハイ)精密工業グループの出資、凸版印刷(株)・大日本印刷(株)との事業統合により、液晶パネル製造会社の商号を「堺ディスプレイプロダクト(株)(SDP)」に変更
- ◆ 稼働率は約8割まで回復、雇用は維持される見通し



堺浜テクノパーク(中小企業クラスター)

- ◆ 中小企業の高度化を支援し、地域産業の活性化を図るためグリーンフロント堺の隣接地に約7.5haの工場用地を造成
- ◆ 優秀な技術を有する企業が集積、11社が操業を開始

- | | |
|--------------|---------------|
| 株式会社旭ウエルデックス | 旭国際テクネイオン株式会社 |
| 株式会社光立鐵工所 | 株式会社三幸金属工業所 |
| 三宝製罐株式会社 | ダイネツ商事株式会社 |
| 大裕鋼業株式会社 | 大和化成株式会社 |
| 南海鋼材株式会社 | ファインフーズ株式会社 |
| 増田産業株式会社 | |



(1) 堺市産業の振興④ ～臨海部への投資状況等～

※一部について表示紹介

- ◆ 企業立地促進条例施行後65件、9,200億円の投資を認定。
- ◆ シャープ(株)及び関連企業で条例認定約7,000億円、その他を含めて約1兆円の投資予定



(1) 堺市産業の振興⑤ ～堺市の文化・観光振興～



- ◆ 本市が有する歴史文化を活かすとともに、地理的利便性（高速道路網や関西国際空港へのアクセス）を活用し、文化・スポーツ・観光施策を推進
- ◆ 観光ビジター数は平成17年度の463.7万人から平成22年度は705.8万人（52%増）に、1,000万人をめざして、観光施策を中心に推進

J-GREEN堺 (市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター)

- ◆ 日本で最大規模のサッカー施設（サッカーピッチ14面、フットサルピッチ8面など）を平成22年4月にオープン 総事業費57億円
- ◆ 平成23年度は9,020試合開催、63万人来場
(平成22年度 9,020試合開催、61万人来場)
- ◆ 宿泊施設（収容286人）が平成24年4月オープン
- ◆ JFAアカデミー堺を平成24年開校
 - ✓ 初年度は中学生（女子）1学年12名を募集し、公立中学校に通いながら、寮生活のもとで集中的なサッカーのトレーニングを実施



文化観光拠点の整備

- ◆ 堺観光の玄関口として観光ネットワークの起点となる施設整備事業を推進中
- ✓ 都心部の1.1ha（本市所有の旧市立堺病院跡地）に、観光案内施設、千利休・茶の湯関連施設、与謝野晶子顕彰施設、飲食・物販施設、駐車場を整備予定
⇒市内周遊への誘導を図り、まちの賑わい創出と都市活力の向上を目指す

百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録推進

- ◆ 世界三大墳墓に数えられる「仁徳天皇陵古墳」をはじめとする百舌鳥(もず)・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けて取組中
- ◆ 平成22年11月22日にはユネスコ世界遺産暫定一覧表に掲載
- ◆ 近畿2府4県で世界遺産を唯一有していない大阪府として、行政だけでなく産業界も含めたオール大阪で平成27年の登録をめざし取組みを強化

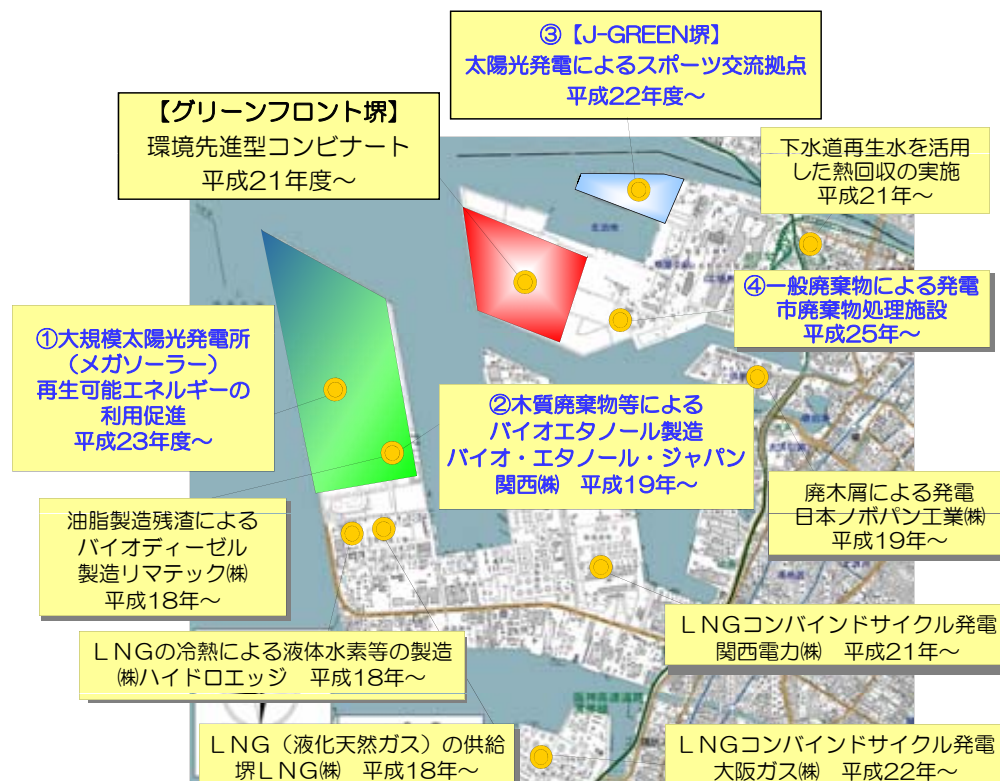


(2) 「クールシティ・堺」の実現に向けて！

～先導的な都市環境の形成～

- ◆ 世界最大級の大規模太陽光発電所（①）、廃木材からバイオエタノールを製造する世界初の工場（②）、太陽光発電によるスポーツ交流拠点であるJ-GREEN堺（③）や高効率ごみ発電施設を備えた清掃工場（④、平成25年度稼働予定）など、次世代エネルギーに関して我が国を代表する施設が集積
- ◆ 特に、太陽光発電システム（①）について、まち全体で太陽エネルギーを活用する「まちなかソーラー発電所」の実現をめざす。まちなかソーラー事業の補助実績は、世帯数あたり全国第1位（平成21年度、22年度、23年度の補助実績は、それぞれ1,179件、1,148件、1,367件の合計3,694件）

次世代エネルギー拠点の集積



太陽光エネルギーを最大限活用した都市活力の創出

＜堺太陽光発電所の概要＞

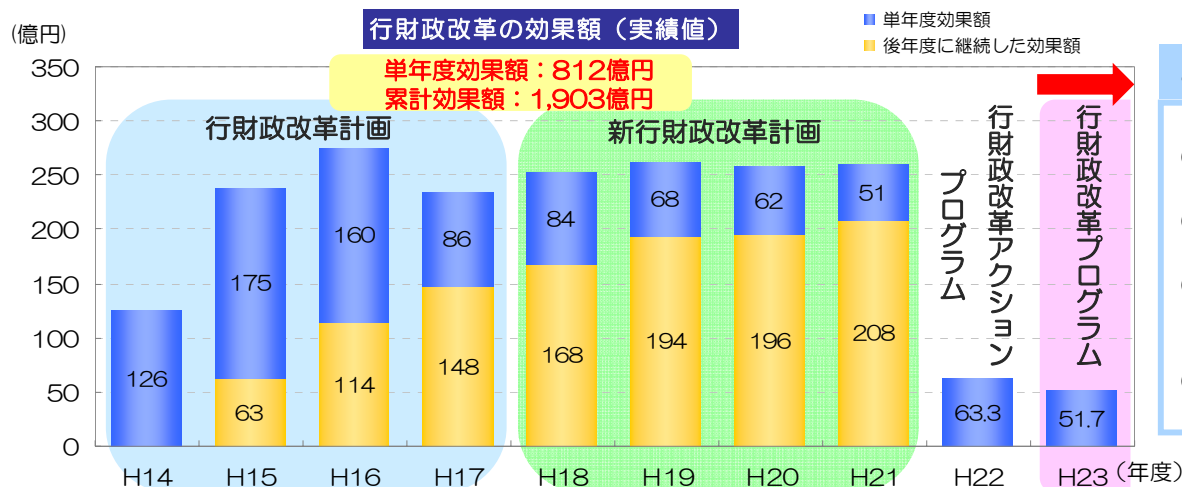
- ◆ 実施体制：関西電力および堺市が共同実施〔関西電力：建設・運営、堺市：普及啓発事業等〕
- ◆ 操業開始（全区画）：平成23年9月
- ◆ 発電電力量：約1,100万kWh/年（一般家庭 約3,000軒分相当）
- ◆ CO2削減量：約4,000トン/年
- ◆ 近隣のシャープ堺工場で生産した薄膜型太陽電池約7万4,000枚を利用



＜堺太陽光発電所＞

(3) 行財政改革の取組① ~これまでの取組~

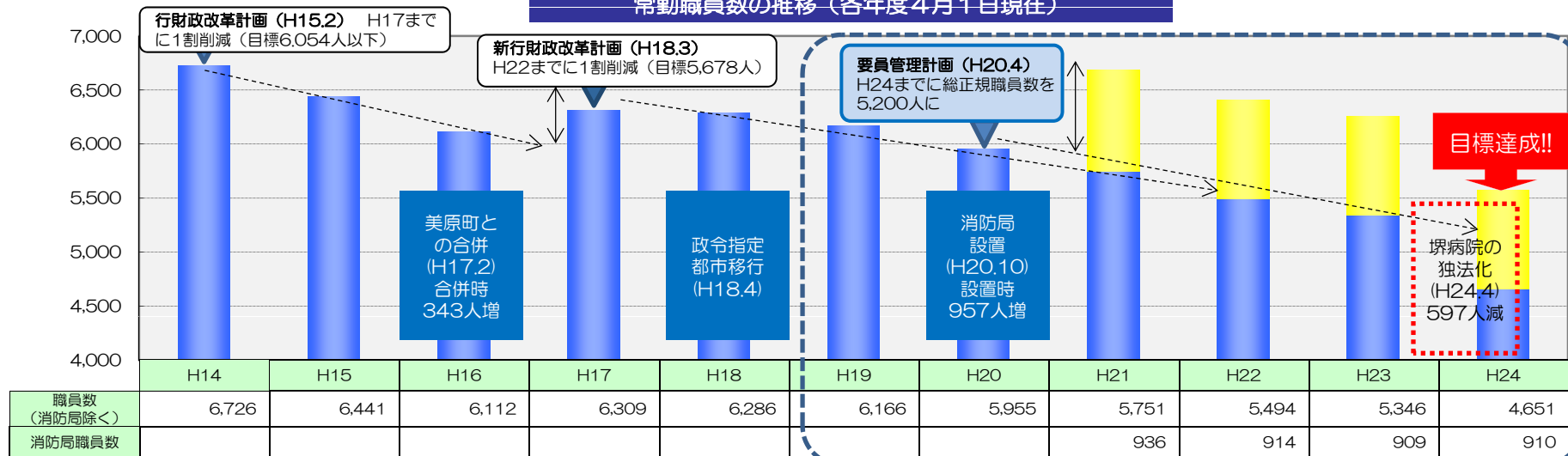
- ◆平成15年2月 行財政改革計画 (平成16年4月改定 計画期間：平成15年2月～平成18年3月)
- ◆平成18年3月 新行財政改革計画 (平成19年7月改定 計画期間：平成18年4月～平成22年3月)
- ◆平成20年4月 要員管理計画 (平成24年4月1日までに常勤正規職員を5,200人とする) ⇒ 目標達成



とくに成果を上げた取組み

- 職員数の削減・・・6,726人 (H14) → 4,651人 (H24)
- 小学校給食調理業務委託・・・94校全校委託化 (H21.4月)
- 生活ごみ収集業務・・・全世帯数の96.9%を委託化 (H24.3月末)
- 公立保育所民営化・・・18か所/40か所 (H24.3月末)

常勤職員数の推移 (各年度4月1日現在)



(3) 行財政改革の取組② ～行財政改革プログラム～

- ◆ 持続可能な行財政運営の確立に向けて、市の仕事をゼロベースで総点検
- ◆ 3年間で230億円（累計）以上の効果
 - ☞ 平成23年度の行財政改革効果額は51.7億円

行財政改革プログラム

計画(平成23～25年度)

平成23年度実績

総点検の徹底

《効果額（累計） 76億円以上》

- 事務事業の総点検
- 公共施設等運営の見直し
- IT経費の見直し
- 外郭団体の見直し

《効果額 29.1億円》

- 施策・事業の見直し（14.4億円）
- 外郭団体の見直し（5.1億円）
- 歳出構造の見直し（9.6億円）

少数精鋭による 組織運営

《効果額（累計） 87億円以上》

- OB職員も含めた要員管理の推進

《効果額 14.5億円》

- 総人件費の削減

収入確保策の強化

《効果額（累計） 67億円以上》

- 未利用・低利用地等の有効活用
- 市税収入率の確保、債権管理の適正化

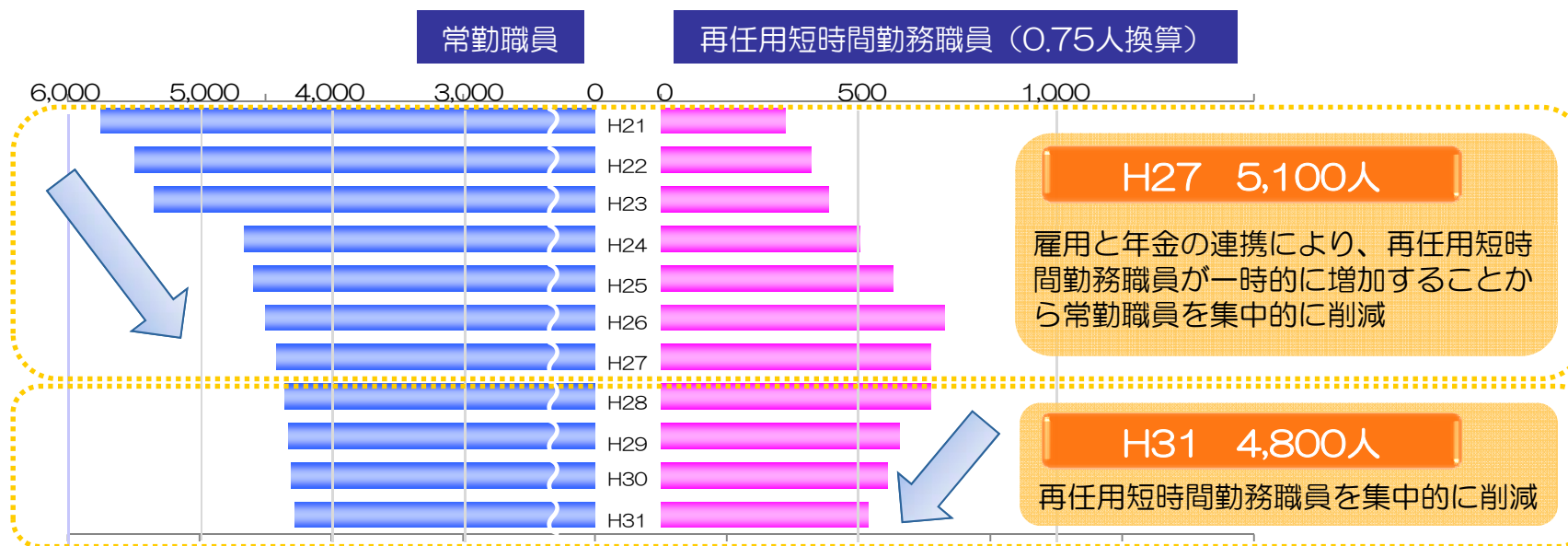
《効果額 8.1億円》

- 財産の有効活用（5.2億円）
- 市税等収入の向上（2.9億円）

(3) 行財政改革の取組③ ～要員管理方針～

- ◆ 平成21年4月1日を起点として、10年間で要員数を 2割以上削減
- ◆ 要員数とともに、総人件費についても、10年間で2割以上削減

H21 6,065人 → ◆ 中期目標 (H27 5,100人)
◆ 長期目標 (H31 4,800人)



年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
常勤職員数	5,751	5,494	5,346	4,651	4,592	4,502	4,417	4,357	4,327	4,307	4,275
再任用短時間 0.75人換算 (実数)	314 (418)	380 (506)	423 (564)	446 (594)	588 (784)	718 (957)	683 (911)	683 (911)	604 (805)	574 (765)	525 (700)
要員数	6,065	5,874	5,769	5,097	5,180	5,220	5,100	5,040	4,931	4,881	4,800

※ 各年度4月1日現在の職員数 (H21～H24までは実績値)

※ 要員数：常勤職員と再任用短時間勤務職員 (再任用職員を0.75人に換算) の人数の合計 (消防局職員を除く)

(4) めざすべき堺の将来像

未来へ飛躍する自由・自治都市

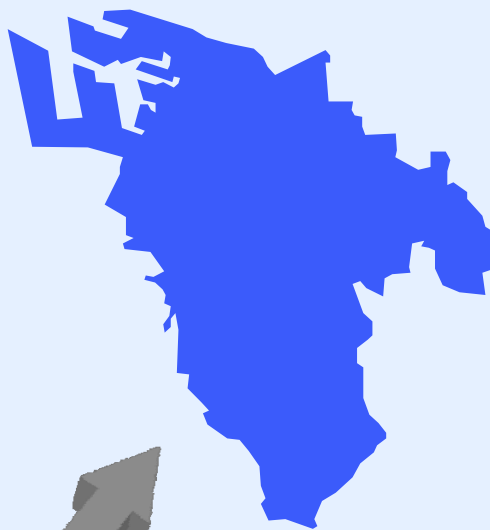
~安らぎ・楽しみ・活躍する場として「希まれるまち」へ~
のぞ

〈将来像が実現した時の堺の姿〉
(イメージ)



市民

一人ひとりが**主役**となり、自らのまちを創り上げ、すべての市民が**安全・安心**で**幸せ**を実感できている



子ども



すべての子どもが**健やかに成長**し、夢の実現に向けて無限の**可能性**に**挑戦**している



社会経済

優れた人材・技術が集積し、常に**新たな価値**が**創造**され、経済と環境が調和した**持続可能な社会**が実現している



人が集まる
企業が集まる
情報・文化が集まる
投資が集まる
モノが集まる

まち

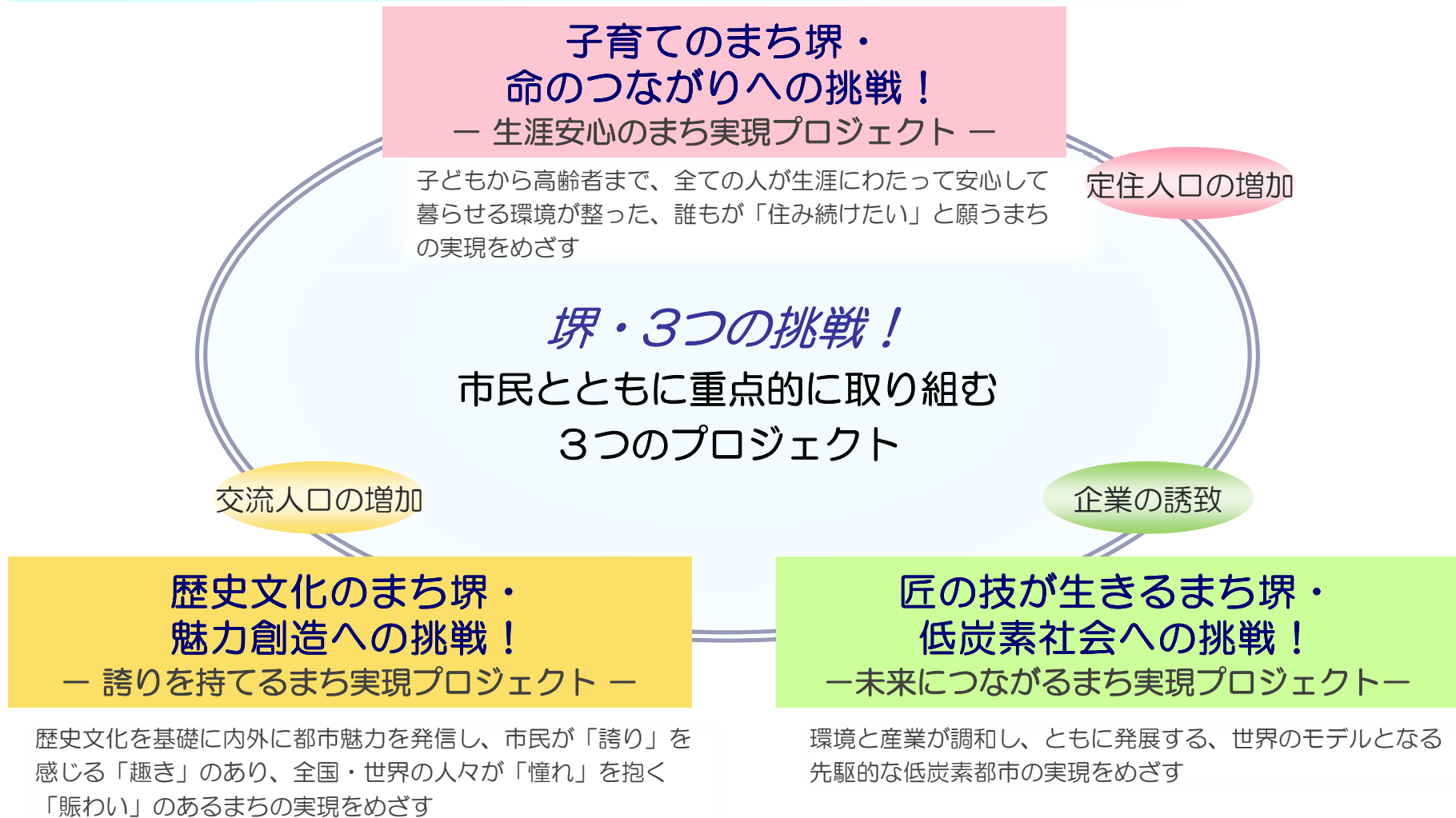


市民が**誇り**を感じ、世界に**魅力**を発信するまちになり、**人・モノ・情報**が集まることで、新しい文化が創造されている

堺市マスタープラン「さかい未来・夢コンパス」



- ◆ 平成23年3月、今後10年間の市政の基本指針となる堺市マスタープラン「さかい未来・夢コンパス」を策定
- ◆ めざすべき堺の将来像の実現に向けて、3つの重点的プロジェクトに取り組む





匠の技が冴える堺の伝統産業

堺には世界に誇れる伝統の技が息づいています。プロの料理人から高い評価を受ける刃物や鉄砲鍛冶をルーツとする自転車をはじめ、昆布、線香、敷物、注染・和ざらしなど、職人の知恵と経験が生きる匠の技を紹介します。

刃物

磨き抜かれた匠の技

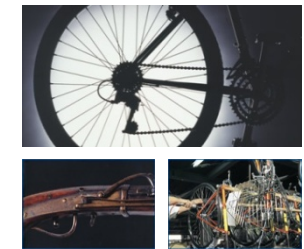
16世紀後半、ポルトガルから伝来したタバコの葉の栽培が盛んになり、堺で初めて「タバコ包丁」が作られるようになりました。これが、堺刃物のはじまりといわれています。その切れ味の鋭さから、江戸時代には、幕府から「堺極（さかいきわめ）」の印を受け、全国にその名をとどろかせました。一本一本丁寧に仕上げられた堺の包丁は、プロの料理人からも高く評価され、使用する包丁のほとんどが堺製であるといわれています。



自転車

鉄砲鍛冶から受け継がれた知恵と技

戦国時代から、金属加工について豊かな経験と高度な技術を受け継いできた堺の鉄砲鍛冶。自転車のフレーム加工や部品を取り付けるネジの製造などに大いに力を発揮しました。鉄砲鍛冶の技術を生かして、故障の多い明治時代の輸入自転車の修理や部品製造にあたったことが、堺の自転車産業の始まりで、現在も国産自転車の約4割のシェアを誇っています。



昆布

感性が光る職人の技

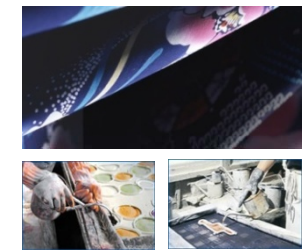
江戸時代中期、北海道で採られた昆布が下関を経て堺へ通じる航路（コンブロード）が開かれ、堺の昆布加工業が本格的に発達しました。堺では、熟練した昆布職人によって手作りで加工される「おぼろ」の他に、「とろろ」や佃煮など、さまざまな種類の加工品も扱っています。



注染・和ざらし

やさしい風合いを生み出す手染めの魅力

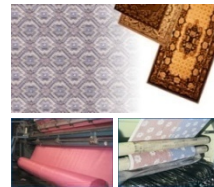
和ざらしとは、木綿から不純物を取り除いて漂白した生地のことです。江戸初期から水量の豊富な石津川沿いで多く生産されてきました。伝統的な注染で丹念に染められたゆかた地は、機械で表面だけにプリントしたものと違い、生地の裏側にまでその柄が色あざやかに出ており、長く着ても色あせがないことが特長です。



敷物

手織りから機械織りへと、受け継がれた敷物文化

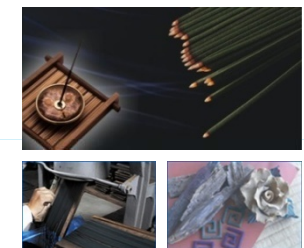
堺手織織通（だんつう）は、江戸時代中期、ある糸物商人が製造販売したのが始まりといわれています。明治時代、欧米に紹介されると、日本の重要な輸出品として、生産高を急激に伸ばしました。今では新素材をはじめ、機能やデザインに優れた多種多様な製品が生み出され、堺の新たな敷物文化として脈々と受け継がれています。



線香

原料へのこだわりと、調香の妙

16世紀の終わりに中国から製法が伝わり、日本で初めての線香が作られました。堺は当時我が国固有数の貿易港であり、原料の香木が集まりやすかったことや、寺院が多かったことが線香づくりの発展を支えたと思われます。厳選された天然香料と職人技の妙が合わさり、独特の「調香」を施して完成した堺線香は、香りの芸術品と称されるほど奥深いものです。





もののはじまりなんでも堺

<もののはじまりなんでも堺>と言われるように、堺には、日本で初めてつくられたものがたくさんあります。

有名なものから、ちょっと意外なあんなものまで、皆さんは、いくつご存知ですか。

■私鉄—阪堺鉄道

明治18年12月、日本初の私鉄—阪堺鉄道が、難波駅から大和川北岸（大和川駅）の区間で開業。当時官営鉄道は営業していましたが、一切を民間の手でなしとげたのは阪堺鉄道がはじめてでした。



阪堺鉄道開業時の「和歌号」

■傘

文禄三年(1594)、納屋助左衛門が南方貿易で今のように開閉できる傘を持ち帰り、豊臣秀吉に献上し傘が普及しはじめました。自在に開閉できる傘は助左衛門が持ち帰る以前に、南中国から伝えられたとする説もあります。

■水練学校

海国日本の青少年がカナヅチでどうする！の考えのもと、大阪毎日新聞は明治39年7月、浜寺水練学校をスタートさせました。エリートコーチの徹底した指導によって、“三日で泳げる”と評判になり、全国各地から入門者がつめかけました。

■瓶詰めのお酒

もともと日本酒は全部樽詰めで、小売は杓で量り売りしていましたが、杓から壺に移す際こぼれるお酒のロスをなくそうと、堺の酒造業者の鳥井駒吉が瓶つめの酒を考案しました。彼はその後、アサヒビールの前身である大阪麦酒を創設しました。

■金魚

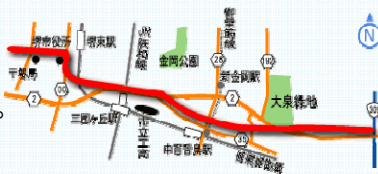
金魚の産地といえば、奈良県大和郡山市などが有名ですが、文亀二年(1502)遣明貿易で栄えた堺の港に、はじめて原産地中国からもたらされました。その時の金魚は赤・白・黒の三種類でした。

■三味線

永禄五年(1562)、堺の琵琶法師に琉球帰りの船乗りがみやげに持ち帰った珍しい楽器(サムシエン)—これが三味線のはじまりです。中小路法師はこの楽器の二本の弦を三本に、丸い胴の部分下角形に、その皮を蛇のかわりに猫の皮に改良し三味線の原型が誕生したのです。

■国道第一号

推古天皇の時代につくられた難波から飛鳥までの大道が、日本最古の官道といわれ、そのうち堺から飛鳥への道が「竹の内街道」と呼ばれました。



■学生相撲

大正8年11月、大浜で第一回全国学生相撲大会が開かれました。新聞に「三万の観覧者、或いは熱奮し或いは酔うが如し」と記されるくらいの熱狂ぶりでした。



現在の大浜公園相撲場

■銀座

全国に六百近くある銀座という名は、慶長六年(1601)に銀貨を作る鑄造所につけられたのが最初で、その銀貨を日本ではじめて作ったのが堺の人たちです。堺では銀の売買、銀細工をする人たちが、各地から荒銀を買い集め加工して売っていました。徳川家康は貨幣制度を確立するため、伏見に鑄造所をつくり、その技術長に堺の湯浅作兵衛を選びました。

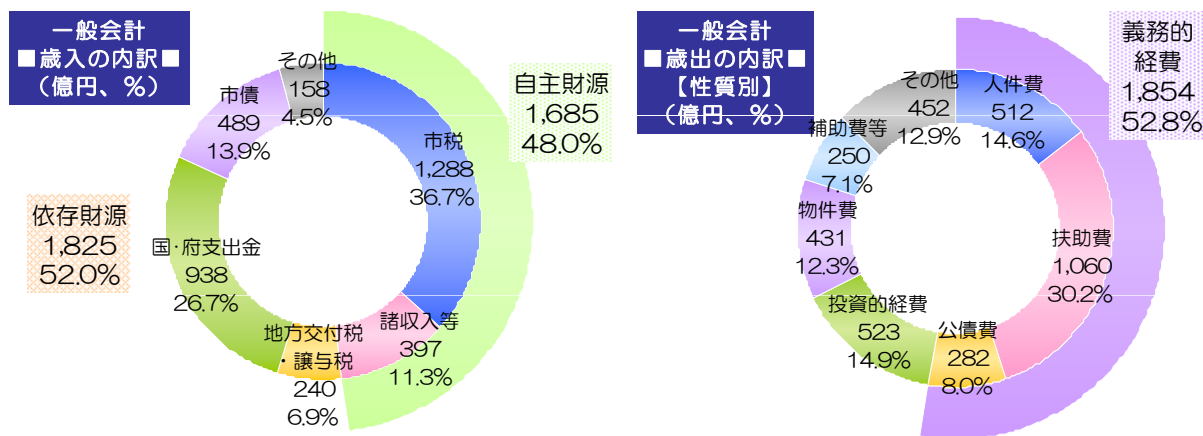
Ⅲ. 堺市の財政状況について



- | | |
|---------------------|------|
| (1) 平成24年度予算の概要 | … 23 |
| (2) 健全化判断比率 | … 24 |
| (3) 平成23年度普通会計の決算状況 | … 25 |
| (4) 特別会計の状況 | … 29 |
| (5) 公営企業会計の状況 | … 30 |
| (6) 出資法人の状況 | … 31 |
| (7) 市債残高の推移 | … 33 |
| (8) 基金の積立状況 | … 35 |
| (9) 財政収支見込（一般会計） | … 36 |

(1) 平成24年度予算の概要

- ◆「新しい堺」を創る未来への投資として、3つの挑戦に予算を重点配分
- ◆市税収入は、評価替えによる固定資産税の減少などにより1.1%の減少
- ◆投資的経費は、清掃工場の整備や市営住宅建替などにより14.7%の増加



平成24年度予算のポイント

- 子育てのまち堺・命のつながりへの挑戦！
 - ◆ 保育所入所待機児童の解消 約10.8億円
 - ◆ 小中一貫教育の推進 約4.5億円
 - ◆ 新病院整備事業 約11.3億円
- 歴史文化のまち堺・魅力創造への挑戦！
 - ◆ 世界文化遺産登録推進事業 約15.6億円
 - ◆ 文化観光拠点整備事業 約2.4億円
 - ◆ 首都圏における堺の魅力発信事業 約0.7億円
- 匠の技が生きるまち堺・低炭素社会への挑戦！
 - ◆ 企業投資促進事業（債務負担 10.0億円）
 - ◆ 伝統産業振興事業 約1.0億円
 - ◆ 路面電車活性化事業 約5.4億円
 - ◆ まちなかソーラー推進事業 約3.6億円
- 都市内分権の推進
 - ◆ 区民まちづくり基金活用事業 約2.2億円
 - ◆ 地域まちづくり支援事業 約0.9億円
- 安全・安心のまちづくり
 - ◆ 地域防災力の強化 約2.1億円
 - ◆ 耐震化の推進 約57.9億円
 - ◆ 基幹的広域防災拠点の整備 約3.7億円

各会計の予算規模

(単位：億円、%)

会計	平成24年度 予算	平成23年度 予算	増減額	伸率
一般会計	3,510	3,429	81	2.4
特別会計 (8会計)	2,108	1,976	132	6.7
企業会計 (※2会計)	803	1,054	△ 251	△ 23.8
合計	6,421	6,459	△ 38	△ 0.6

※平成23年度の企業会計は、水道、下水道、堺病院の3会計

(2) 健全化判断比率

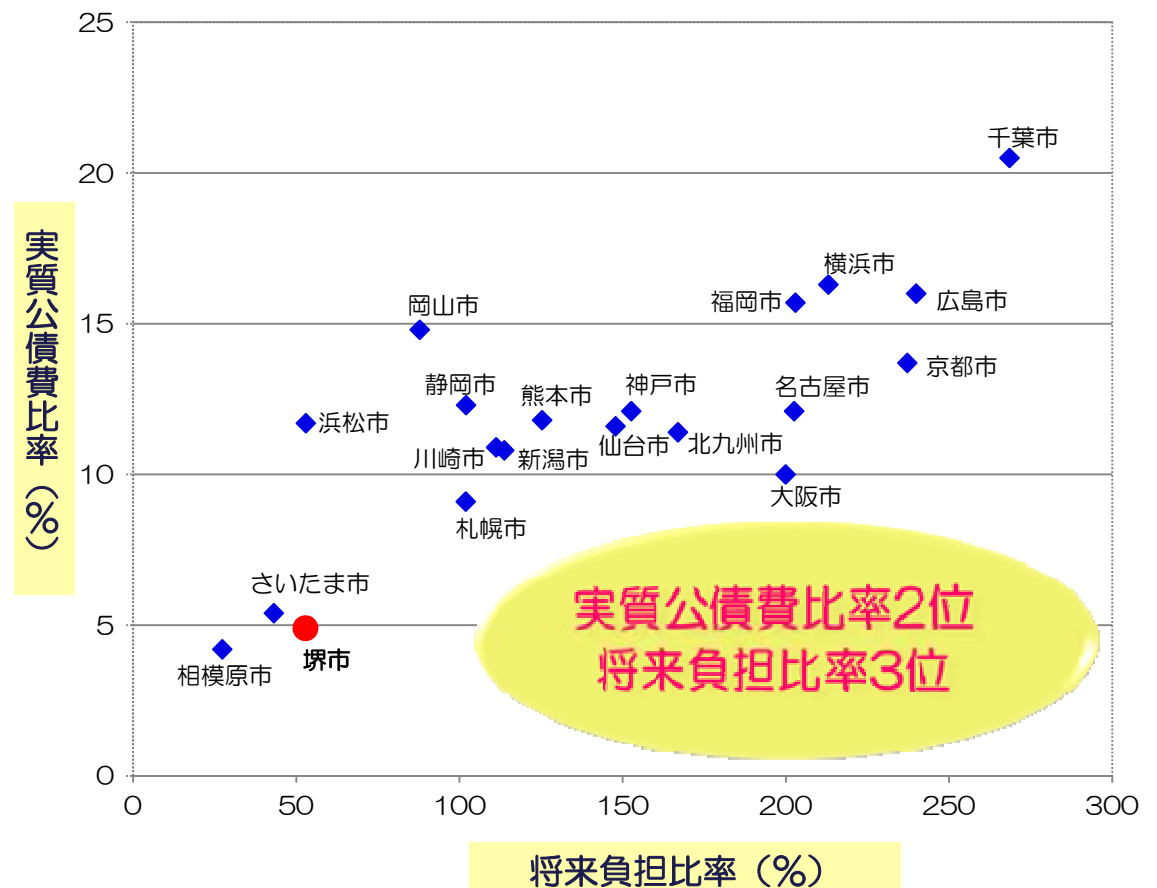
◆ 地方財政健全化法に基づく健全化判断比率（4指標）については、いずれも早期健全化基準を大幅にクリア

◆ 実質公債費比率、将来負担比率ともに低位に位置し、債務負担は非常に軽い

健全化判断比率	堺市 H23年度 決算	【参考】 早期健全化 基準
実質赤字比率	— (赤字となっていない)	11.25%
連結実質赤字比率	— (赤字となっていない)	16.25%
実質公債費比率	4.9% (5.4%)	25.0%
将来負担比率	52.8% (59.8%)	400.0%

※カッコ内は、昨年度の数値

20政令指定都市の財政状況

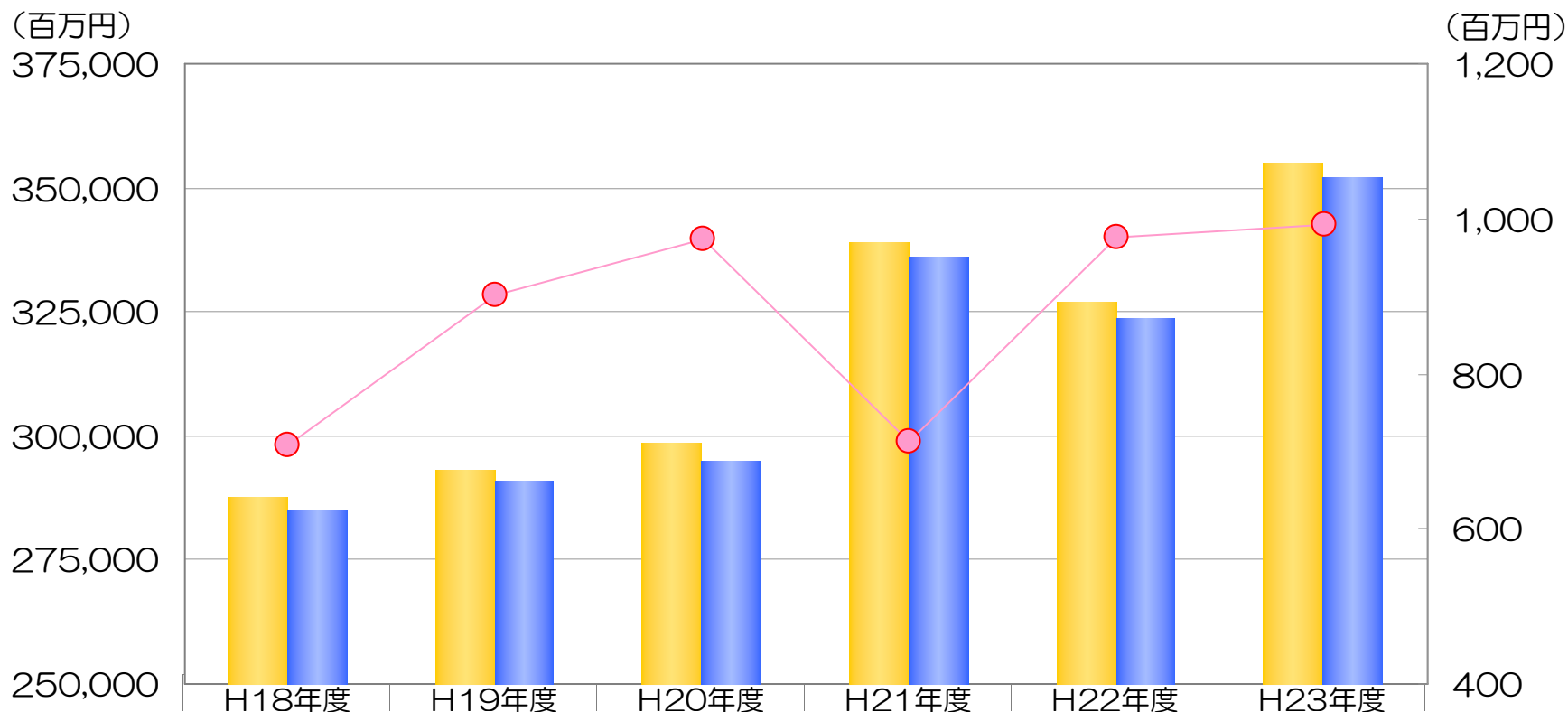


(3) 平成23年度普通会計の決算状況



◆ 実質収支は32年連続黒字

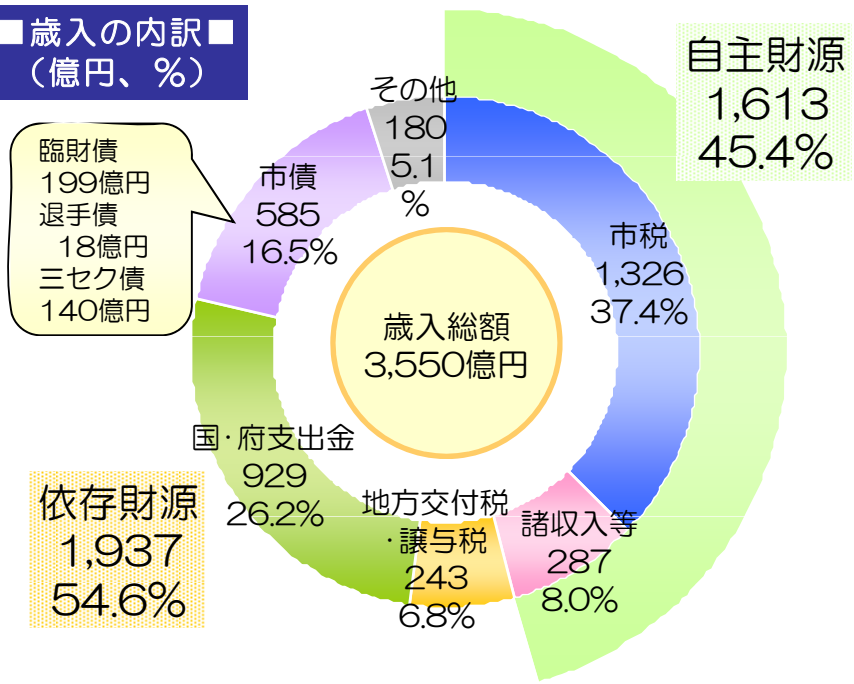
- 歳出：要員管理により人件費が減少した一方、社会保障関連経費や普通建設事業費が増加
- 歳入：市税および国庫支出金、市立堺病院の独立行政法人化に伴う市債(三セク債)発行が増加



■ 歳入(左軸)	287,493	293,119	298,571	338,939	326,925	354,988
■ 歳出(左軸)	284,977	290,889	294,892	336,167	323,655	351,950
● 実質収支(右軸)	709	902	973	713	975	992

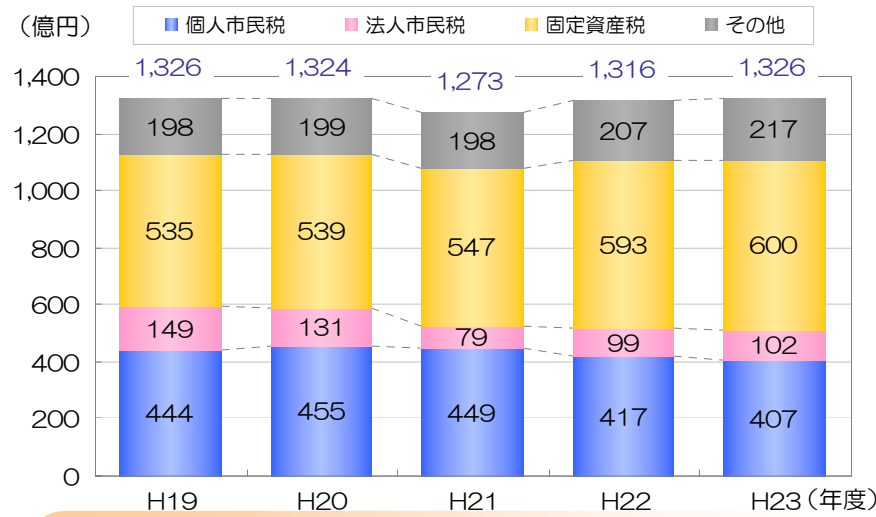
歳入構造の分析

■ 歳入の内訳 ■ (億円、%)

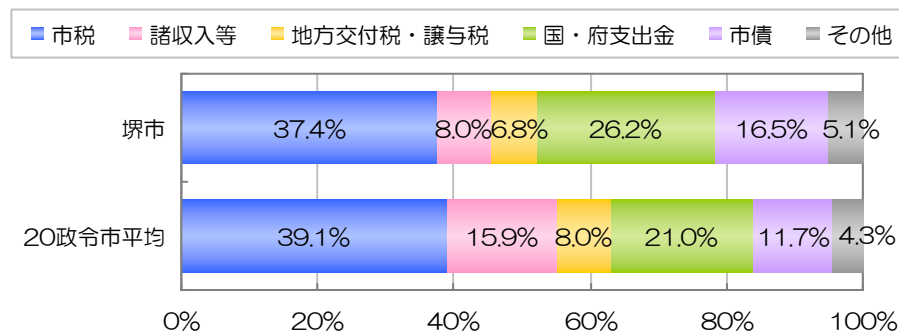


■ 税収構造 ■

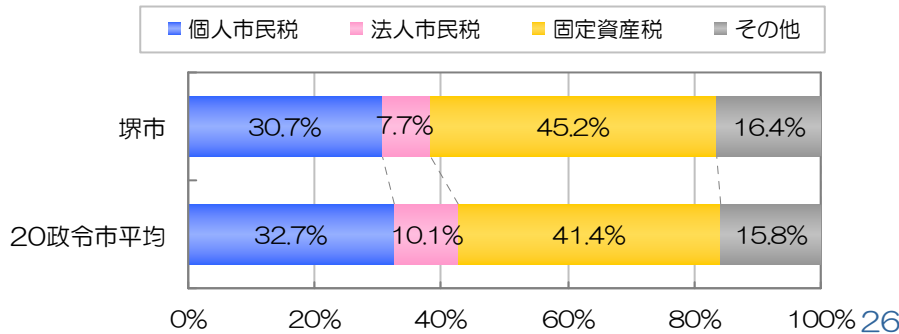
- ◆ 個人市民税 → 減少 法人市民税 → 増加
- ◆ 固定資産税 → 増加 (企業誘致の効果)
- ◆ 市税徴収率はほぼ横ばいにて推移 (H22: 94.9% ⇒ H23: 95.0%)



◆ 臨時財政対策債の発行増、三セク債の新規発行により、例年に比べ市債への依存度が高くなった

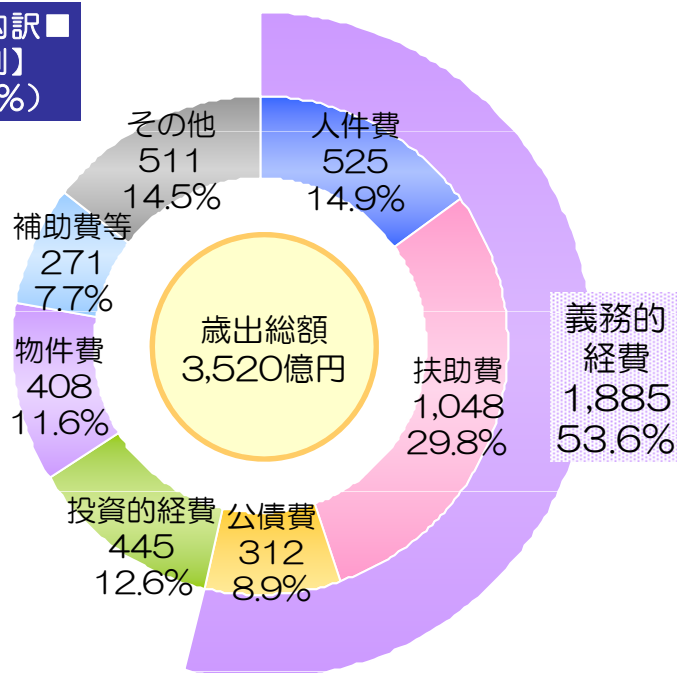


◆ 20政令市平均より、固定資産税の比率が高く、景気変動の影響を受けにくい

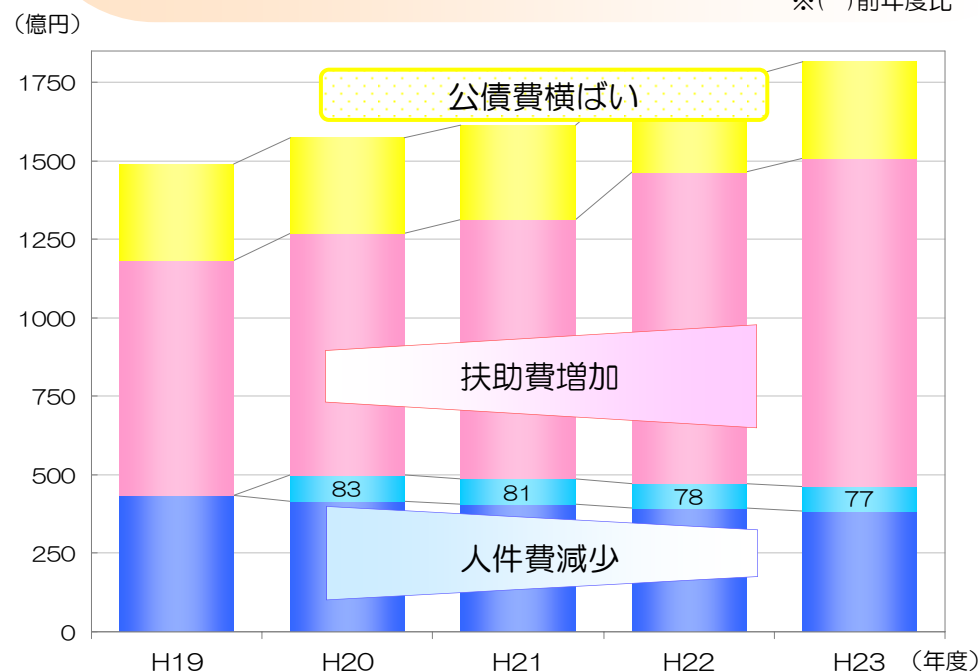


歳出構造の分析

■ 歳出の内訳
【性質別】
(億円、%)

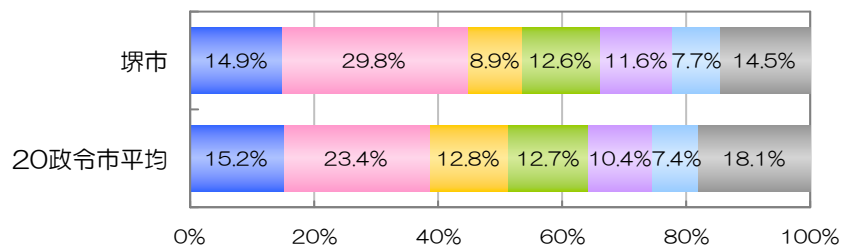


- ◆ 人件費（退職手当を除く）は、行財政改革の効果により着実に減少（▲2.5%）
- ◆ 扶助費は増加傾向（+5.8%）
- ◆ 公債費は横ばいで推移（+2.0%）※()前年度比



◆ 20政令市平均より公債費負担が少ない

■ 人件費 ■ 扶助費 ■ 公債費 ■ 投資的経費 ■ 物件費 ■ 補助費等 ■ その他



公債費	306	305	301	302	308
扶助費	750	771	827	991	1,048
人件費	434	499 (83)	487 (81)	473 (78)	461 (77)

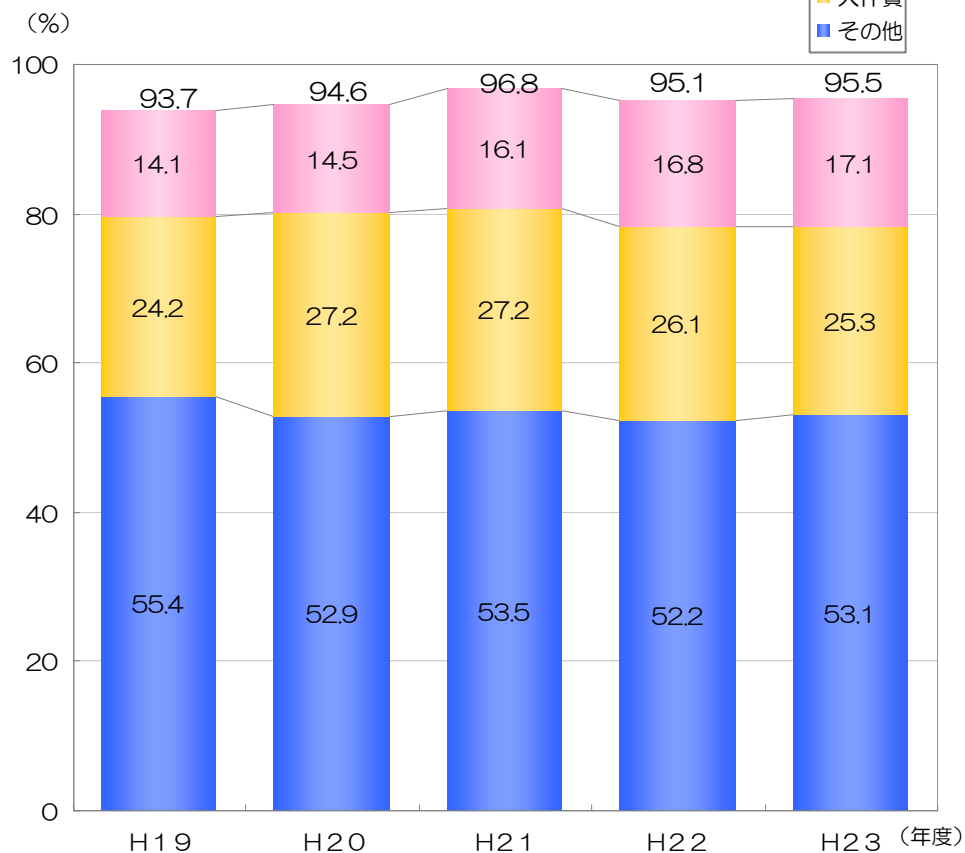
* 公債費については公的資金補償金免除繰上償還額を除く
* 人件費については退職手当を除く

経常収支比率、財政力指数の推移

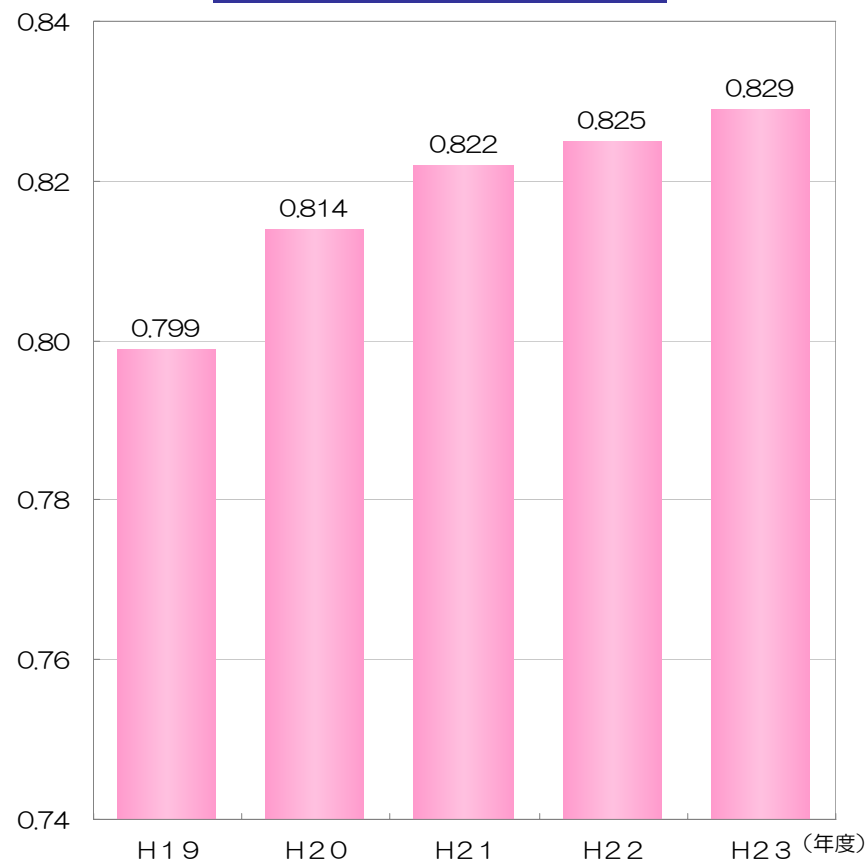
◆ 経常収支比率は、社会保障関連経費等の増加により
0.4ポイント悪化し、20政令市中11位
(前年度：8位)

◆ 財政力指数は20政令市中12位
(前年度：12位)

経常収支比率の推移



財政力指数の推移



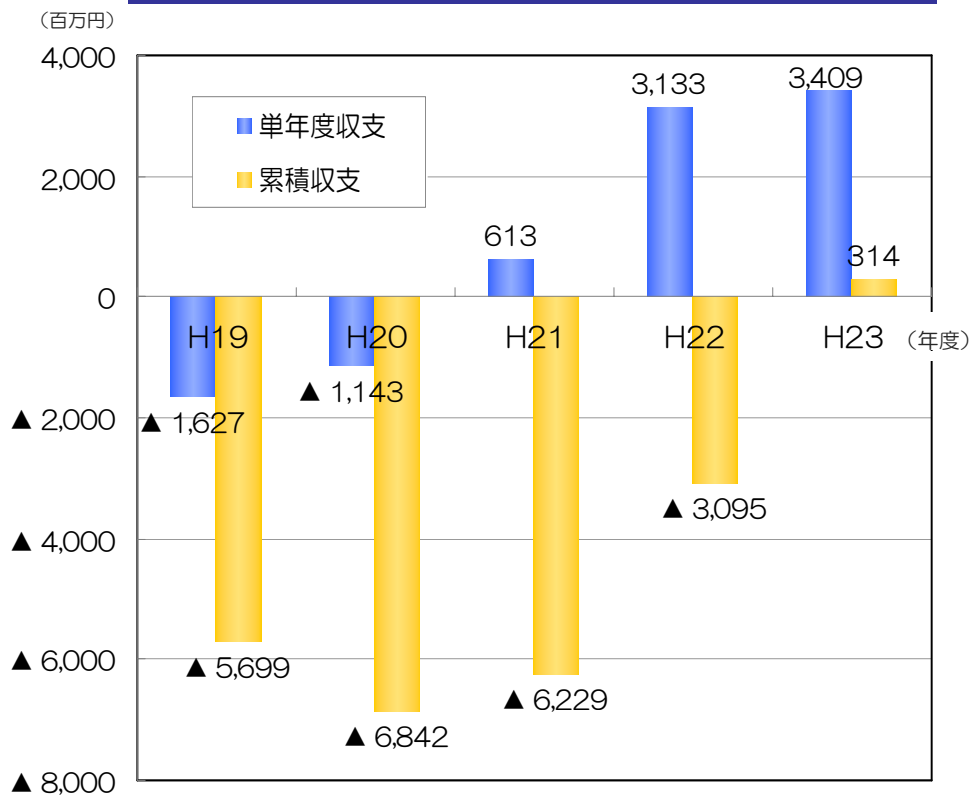
(4) 特別会計の状況

国民健康保険事業特別会計

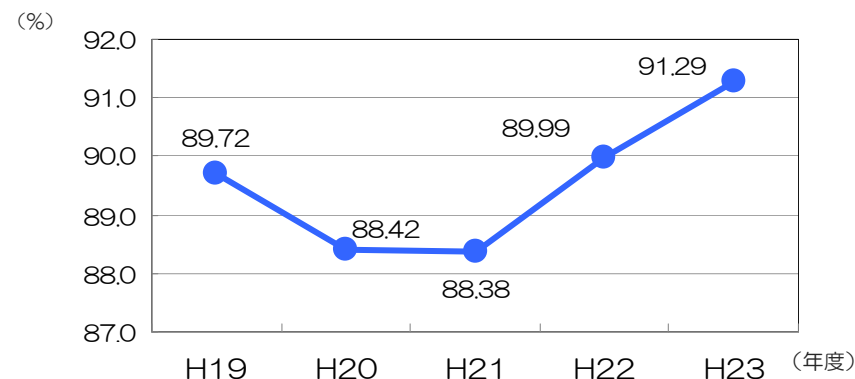


- ◆ 3年連続の単年度収支黒字で累積赤字を解消、実質収支の黒字は昭和59年以来
- ◆ コールセンターの活用、窓口での納付指導など収納対策を強化した結果、収納率は前年度から1.3ポイント改善

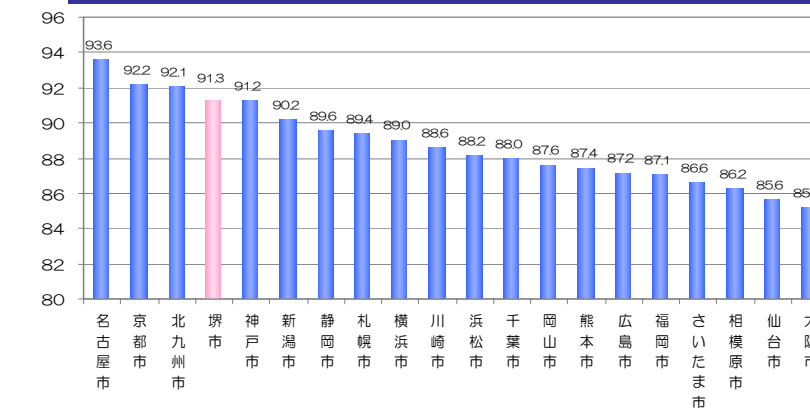
財政収支の推移



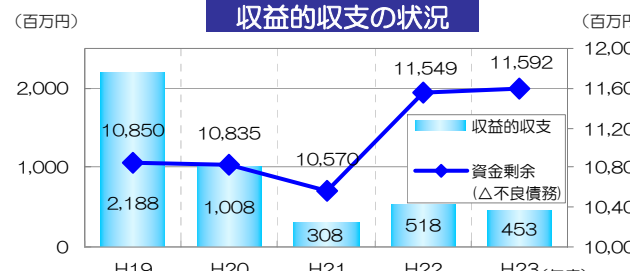
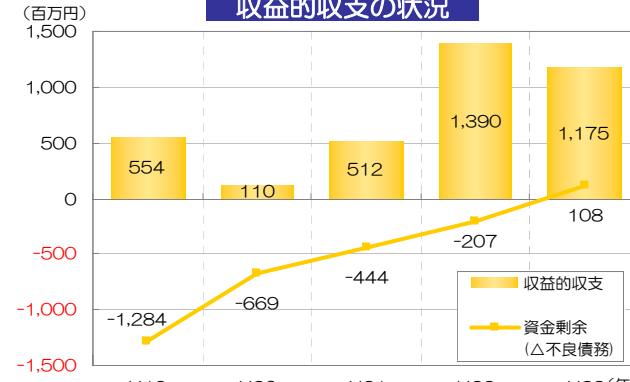
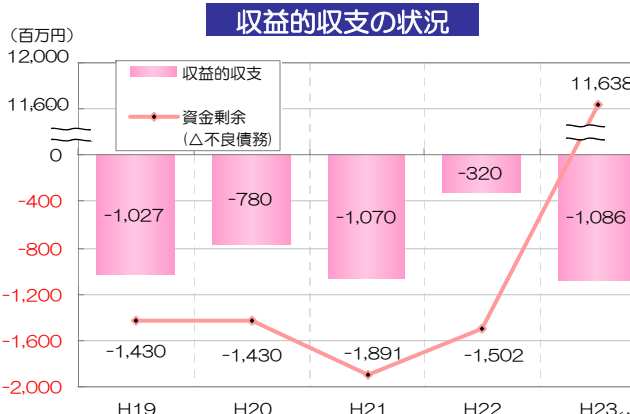
保険料収納率の推移



平成23年度 保険料収納率 (現年分)



(5) 公営企業会計の状況

<p>水道事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成22年10月の水道料金の引き下げなどにより事業収益は減少したが、要員管理の適正化による人件費の削減などにより、純利益4.5億円を計上 ◆ 引き続き、要員管理計画の実施による総人件費の削減など、さらなる行財政改革を強力に推進し、安定した経営状況を確保する 	<p>収益的収支の状況</p>  <table border="1"> <caption>収益的収支の状況 (百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>収益的収支</th> <th>資金剰余 (△不良債務)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>2,188</td> <td>10,850</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>1,008</td> <td>10,835</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>308</td> <td>10,570</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>518</td> <td>11,549</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>453</td> <td>11,592</td> </tr> </tbody> </table>	年度	収益的収支	資金剰余 (△不良債務)	H19	2,188	10,850	H20	1,008	10,835	H21	308	10,570	H22	518	11,549	H23	453	11,592
年度	収益的収支	資金剰余 (△不良債務)																		
H19	2,188	10,850																		
H20	1,008	10,835																		
H21	308	10,570																		
H22	518	11,549																		
H23	453	11,592																		
<p>下水道事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 下水道使用料の収入増などにより事業収益が増加、減価償却費増などにより事業費用も増加したが、純利益11.7億円を計上 ◆ 不良債務の解消は目標より1年前倒して達成 ◆ 「堺市下水道ビジョン(平成23年6月策定)」の着実な実施に加え、東日本大震災などを踏まえた災害・減災対策といった新たな課題にも取り組む必要があることから、さらなる経営の健全化を図る 	<p>収益的収支の状況</p>  <table border="1"> <caption>収益的収支の状況 (百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>収益的収支</th> <th>資金剰余 (△不良債務)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>554</td> <td>-1,284</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>110</td> <td>-669</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>512</td> <td>-444</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1,390</td> <td>-207</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1,175</td> <td>108</td> </tr> </tbody> </table>	年度	収益的収支	資金剰余 (△不良債務)	H19	554	-1,284	H20	110	-669	H21	512	-444	H22	1,390	-207	H23	1,175	108
年度	収益的収支	資金剰余 (△不良債務)																		
H19	554	-1,284																		
H20	110	-669																		
H21	512	-444																		
H22	1,390	-207																		
H23	1,175	108																		
<p>病院事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「地域医療支援病院」の承認など経営改善に取り組んだが、新病院に向けた医療スタッフの増員による給与費の増加などにより、収益的収支は7.7億円悪化 ◆ 地方独立行政法人への移行に際し、市から出資金140億円を受けたことで、不良債務は解消 ◆ 平成24年4月1日、非公務員型の地方独立行政法人「堺市立病院機構」へ移行。地方独立行政法人のメリットを活かした経営改善と効率化に取り組み、「収入の増加」と「支出の削減」に努める 	<p>収益的収支の状況</p>  <table border="1"> <caption>収益的収支の状況 (百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>収益的収支</th> <th>資金剰余 (△不良債務)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H19</td> <td>-1,027</td> <td>-1,430</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>-780</td> <td>-1,430</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>-1,070</td> <td>-1,891</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>-320</td> <td>-1,502</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>-1,086</td> <td>11,638</td> </tr> </tbody> </table>	年度	収益的収支	資金剰余 (△不良債務)	H19	-1,027	-1,430	H20	-780	-1,430	H21	-1,070	-1,891	H22	-320	-1,502	H23	-1,086	11,638
年度	収益的収支	資金剰余 (△不良債務)																		
H19	-1,027	-1,430																		
H20	-780	-1,430																		
H21	-1,070	-1,891																		
H22	-320	-1,502																		
H23	-1,086	11,638																		

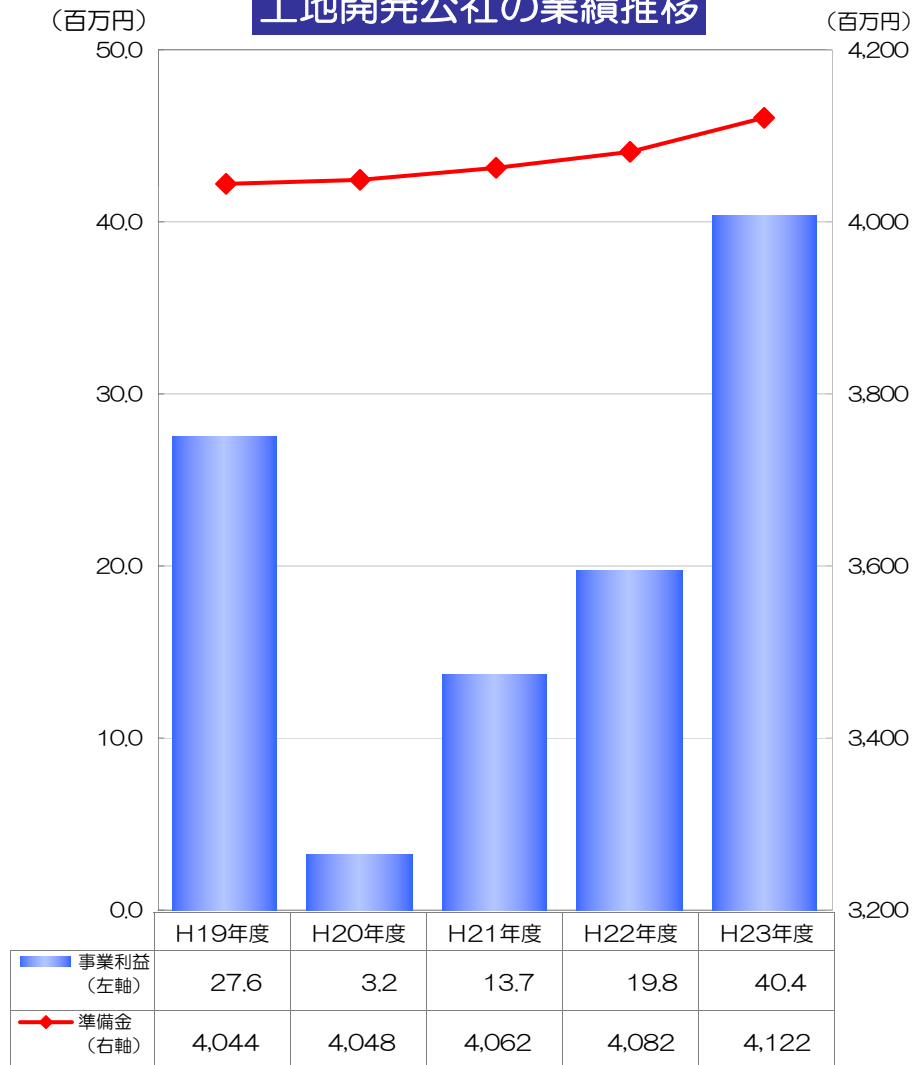
(6) 出資法人の状況① ～土地開発公社～



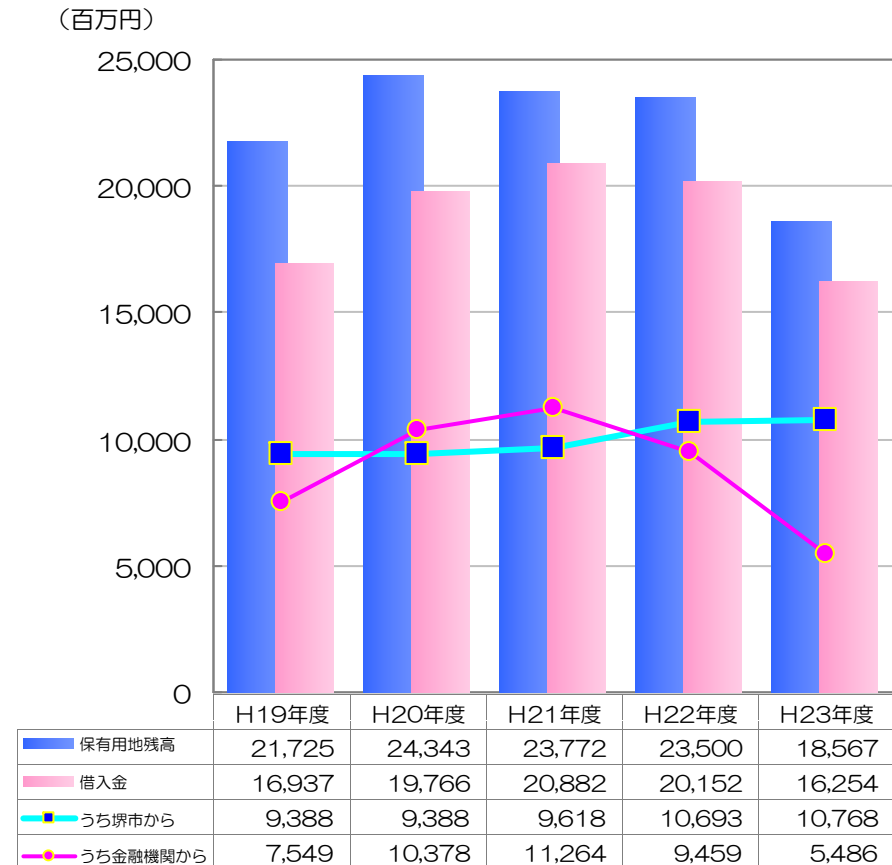
◆ 40億円を超える準備金を保有

- ◆ 平成27年度末に解散する方針を決定
- ◆ 平成23年度末の保有地残高は、市の積極的な再取得により、前年度に比べて大幅に減少
- ◆ 金融機関からの借入金も大幅に減少

土地開発公社の業績推移



土地開発公社の保有用地残高及び借入金の推移



(6) 出資法人の状況② ～住宅供給公社・その他～



住宅供給公社

- ◆ 特定優良賃貸住宅の入居率改善に向けた取り組みにより、4年連続で黒字を確保

住宅供給公社の業績推移



	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
当期純損益	-35	21	97	122	83
累積収支	-177	-156	-59	63	146

その他の出資法人

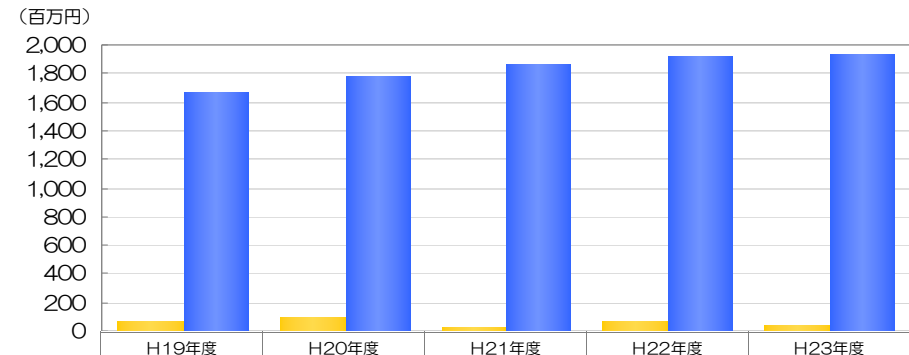
- ◆ 「外郭団体の見直し方針」に基づき、すでに3団体を解散さらに検討を進め、新たに2団体の解散を決定

外郭団体一覧

公益財団法人 堺市文化振興財団	株式会社 さかい新事業創造センター
堺市土地開発公社 (H27解散予定)	公益財団法人 堺市産業振興センター
公益財団法人 堺都市政策研究所	公益財団法人 堺市勤労者福祉サービスセンター
さかいウェルネス 株式会社	社団法人 堺観光コンベンション協会
社会福祉法人 堺市社会福祉協議会	財団法人 堺市都市整備公社 (H24解散予定)
公益社団法人 堺市シルバー人材センター	堺市住宅供給公社
公益財団法人 堺市救急医療事業団	財団法人 堺市公園協会
社会福祉法人 堺市社会福祉事業団	公益財団法人 堺市教育スポーツ振興事業団
公益財団法人 堺市就労支援協会	財団法人 堺市学校給食協会

- ◆ その他の16団体については合計ベースで黒字を継続
- ◆ 市の損失補償残高はゼロ

その他の出資法人の業績推移



	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
当期純損益	65	101	34	72	36
累積収支	1,661	1,782	1,855	1,914	1,933

(7) 市債残高の推移①

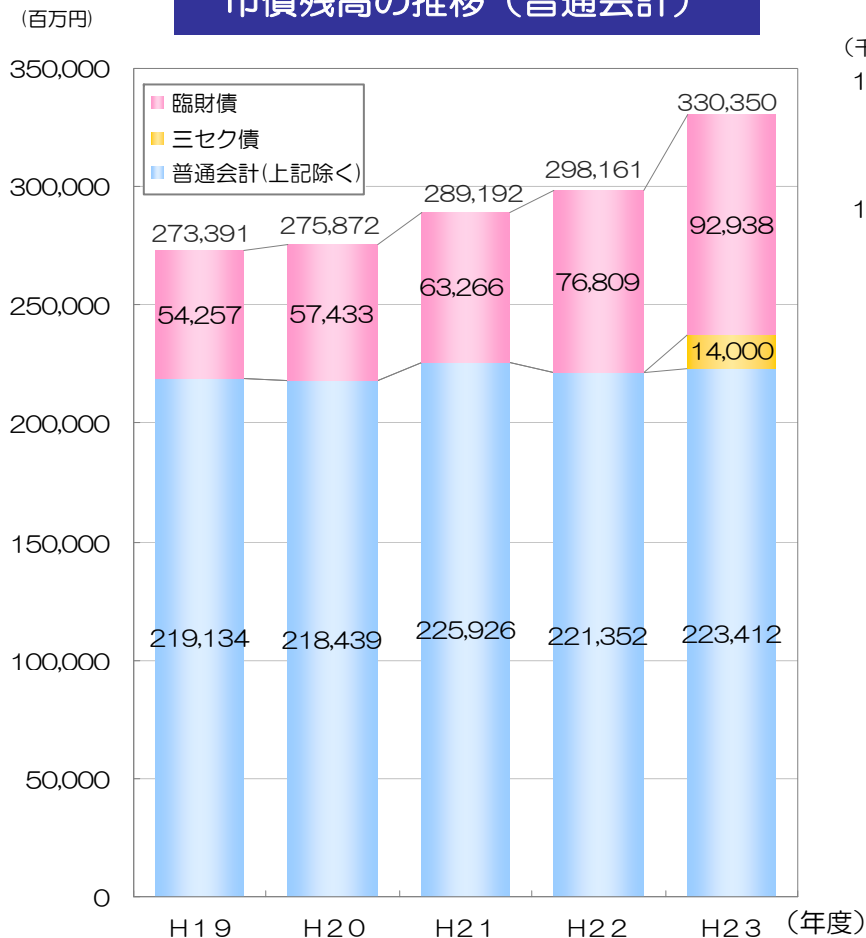
～普通会計～



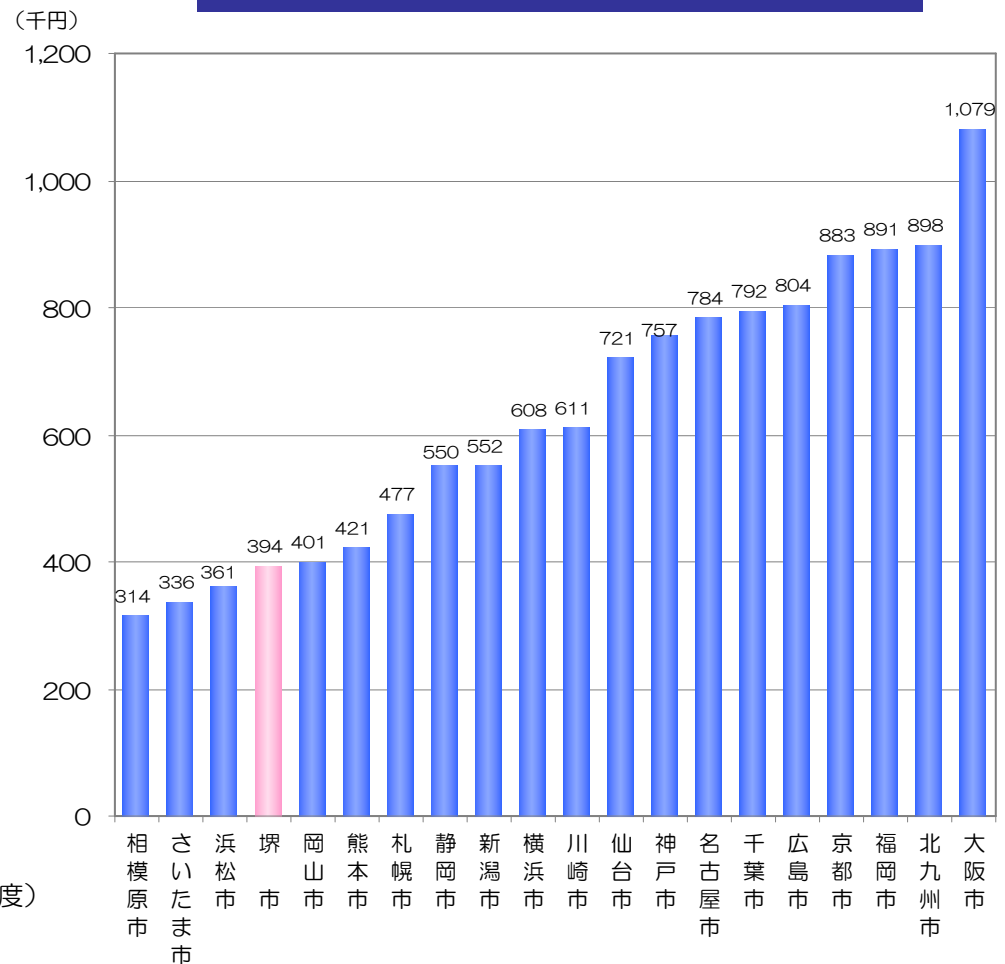
◆ 臨時財政対策債の発行増や堺病院の独法化に伴う三セク債の新規発行などにより321.9億円増加

◆ 市民一人当たり市債残高は、20政令市中、4番目に少ない

市債残高の推移（普通会計）

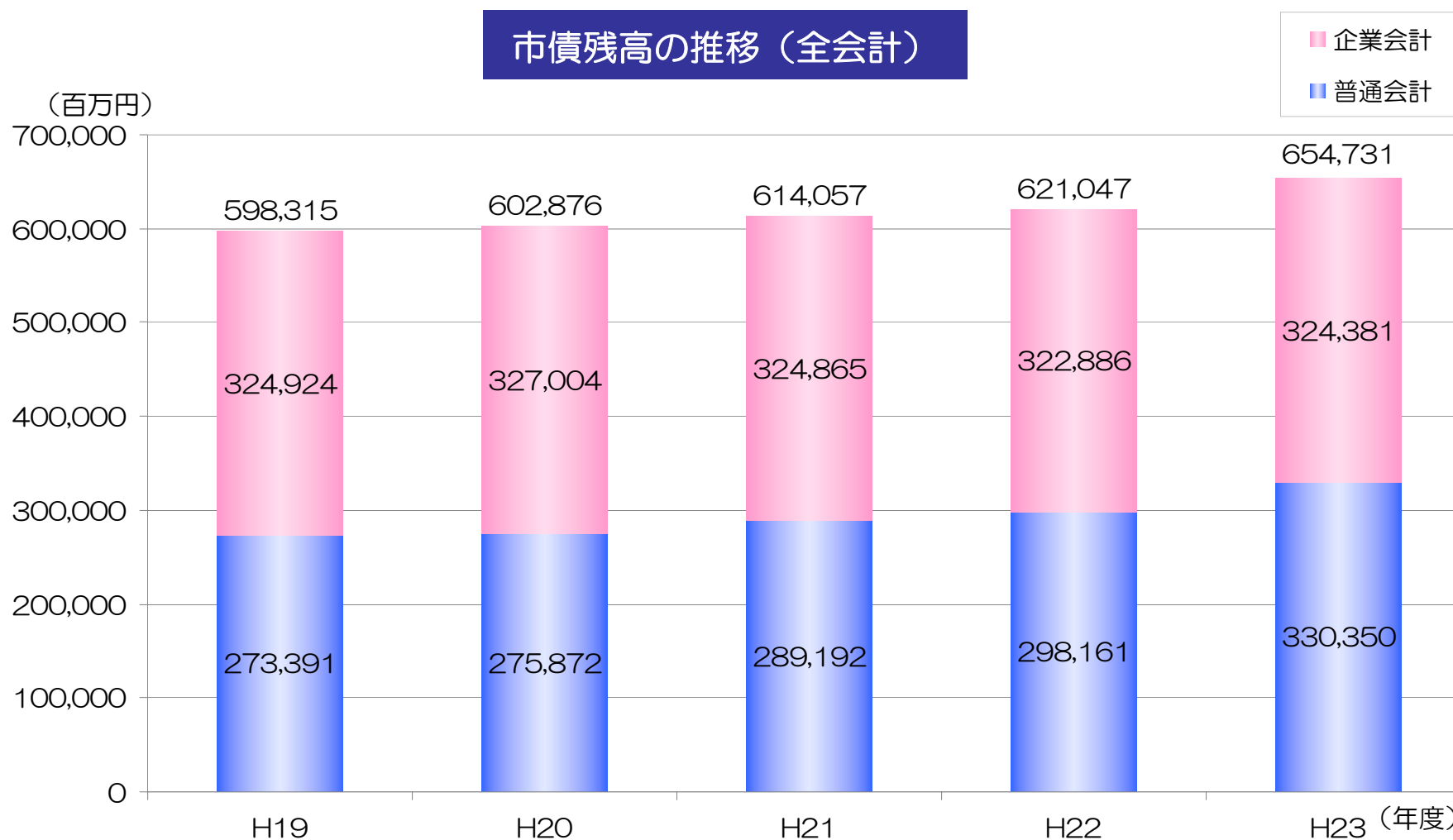


市民一人当たりの市債残高（普通会計）



(7) 市債残高の推移② ～全会計～

- ◆ 新病院建設に伴う病院事業債の発行増により、企業会計の市債残高は15.0億円増加し、全会計では336.8億円の増加となった



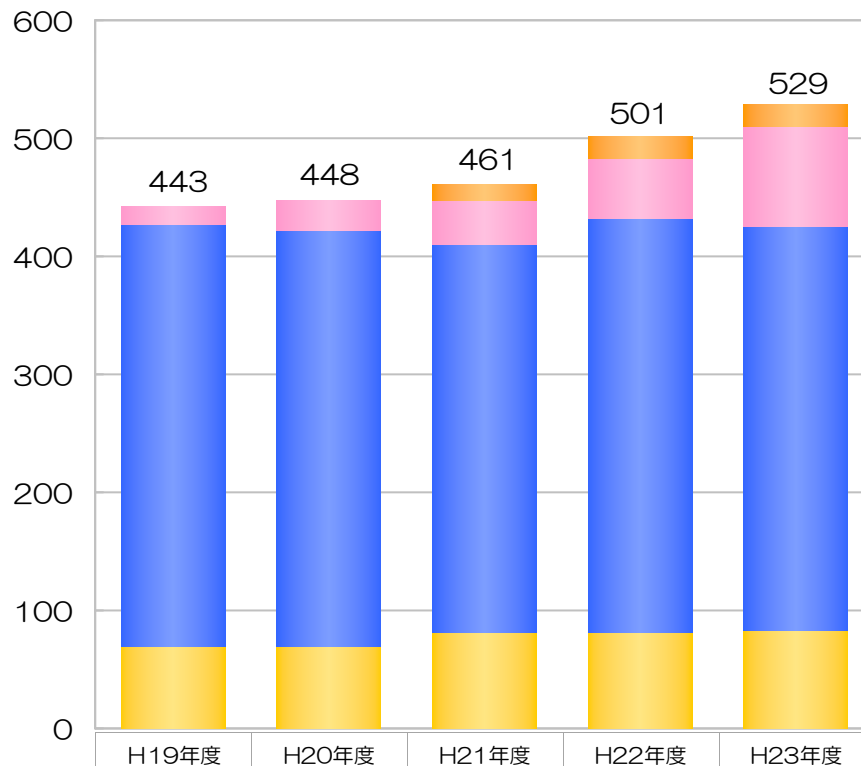
(8) 基金の積立状況



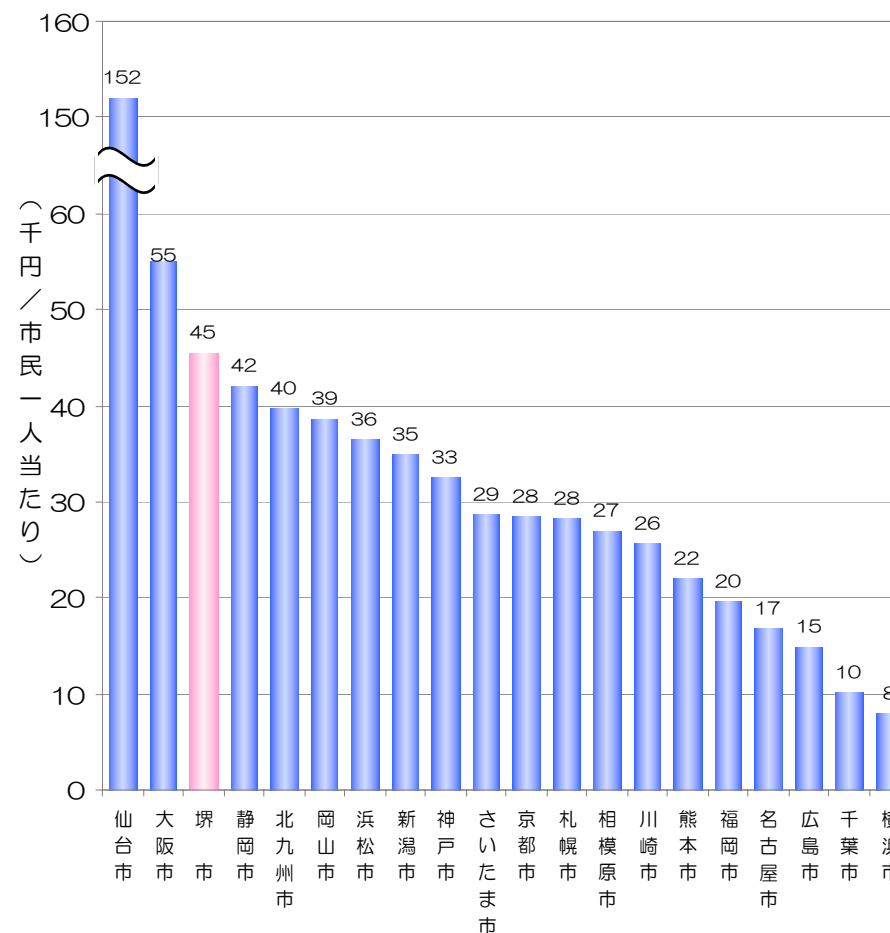
- ◆ 減債基金への任意積立などにより、基金残高は約28億円増加
- ◆ 総務省ルール分の積立は着実に実行

- ◆ 市民一人当たり基金残高は20政令市中3位 (前年度：3位)

(億円)



財政調整基金	0	0	13	18	18
減債基金	16	26	37	50	86
特定目的基金	357	352	330	351	342
定額運用基金	70	70	81	82	83



(9) 財政収支見込（一般会計）

- ◆ 平成23年度から平成32年度までの財政収支見込を試算
- ◆ 行財政改革については「行財政改革プログラム（平成23～25年度）」に沿った見直しを反映
- ◆ 単年度収支は赤字が続くが、基金の活用により実質収支は黒字を確保

財政収支見込（一般会計） 平成23年2月公表

（単位：億円）

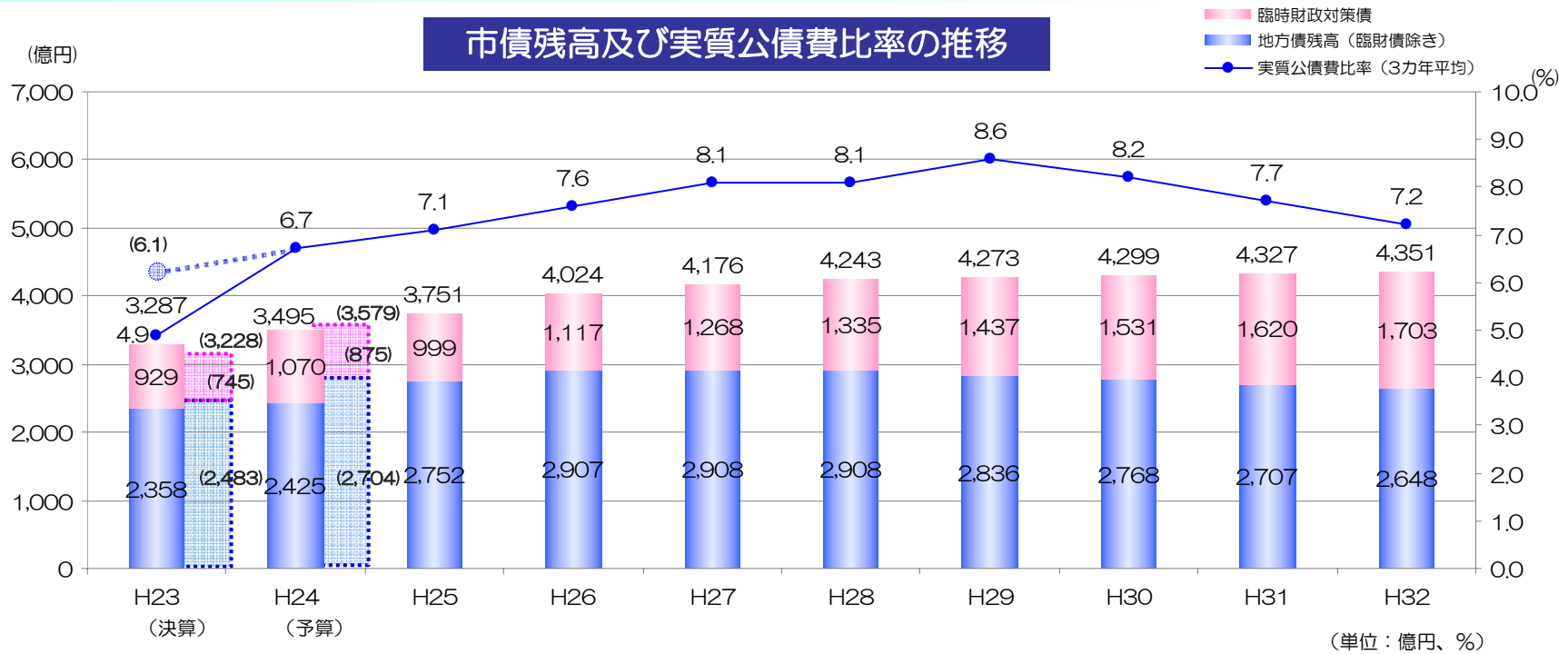
	H23決算		H24予算		H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市税	1,326	(1,303)	1,288	(1,300)	1,303	1,303	1,282	1,285	1,289	1,271	1,281	1,293
地方交付税	219	(217)	217	(214)	217	212	223	225	223	235	235	218
市債	582	(424)	489	(617)	444	526	407	336	286	278	285	268
その他	1,419	(1,485)	1,516	(1,490)	1,504	1,549	1,469	1,487	1,498	1,503	1,503	1,524
合計	3,546	(3,429)	3,510	(3,621)	3,468	3,590	3,381	3,333	3,296	3,287	3,304	3,303
人件費	535	(544)	512	(513)	512	508	517	482	475	470	466	466
扶助費	1,041	(1,039)	1,060	(1,074)	1,101	1,115	1,129	1,144	1,148	1,152	1,157	1,161
公債費	284	(281)	282	(288)	294	272	275	285	267	260	262	246
普通建設事業費	441	(456)	523	(553)	475	511	386	353	278	270	275	250
その他	1,216	(1,109)	1,133	(1,241)	1,123	1,194	1,109	1,123	1,140	1,150	1,160	1,171
合計	3,517	(3,429)	3,510	(3,669)	3,505	3,600	3,416	3,387	3,308	3,302	3,320	3,294
単年度収支	29	(0)	0	(▲48)	▲37	▲10	▲35	▲54	▲12	▲15	▲16	9
基金残高	342	(291)	242	(244)	207	196	161	108	96	81	65	74

※（ ）内の数値は、平成23年2月公表値

市債残高及び実質公債費比率の推移



- ◆ 市債残高（臨時財政対策債除く）は平成27年度にピークを迎え、その後は緩やかに減少
- ◆ 実質公債費比率及び将来負担比率は、現行水準からやや上昇するものの、早期健全化基準よりはるかに低い水準で推移



	H23決算	H24予算	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地方債残高	3,287 (3,228)	3,495 (3,579)	3,751	4,024	4,176	4,243	4,273	4,299	4,327	4,351
地方債残高 (臨時債除き)	2,358 (2,483)	2,425 (2,704)	2,752	2,907	2,908	2,908	2,836	2,768	2,707	2,648
実質公債費比率 (3カ年平均)	4.9 (6.1)	6.7	7.1	7.6	8.1	8.1	8.6	8.2	7.7	7.2
将来負担比率	52.8 (93.2)	107.9	111.1	121.4	124.0	121.4	116.7	112.1	108.1	104.2

※ () 内の数値は、平成23年2月公表値



堺の“はもの”は“刃物”だけじゃない・・・！？

工業都市のイメージが強い堺市ですが、実は、大阪府内で農業産出額1位の農業都市でもあるんです。

特に、シュンギク、コマツナ、ネギ、ホウレンソウなどの軟弱野菜の生産がさかんで、シュンギクは、全国でも有数の生産額を誇っています。ご存知でしたか？

堺市では、この軟弱野菜をはじめ、ジャガイモ、タマネギ、トマトなど15品目の堺産農産物を「堺のめぐみ」としてブランド化し、農産物直売所等で販売しています。

また、2011年からは、「堺フードフェスティバル」のイベントの一環として、「堺のめぐみ」を使った料理レシピコンテストを開催するなど地産地消の推進を図っており、地域農業の活性化に努めています。

そう、堺は“刃物”だけじゃなく、シュンギクなどの“葉物（野菜）”も有名なんです。

府内シェア1位の農産物

作物名	シェア
しゅんぎく	36.4%
水稻	9.9%
かんしょ	9.7%
大豆	12.9%
こまつな	25.3%
ほうれんそう	18.0%
トマト	14.8%

(出所：平成18年大阪農林水産統計年報)



IV. 堺市債について



(1) 堺市の格付について …… 40

(2) 市債の発行及び起債方針（全会計） …… 41

(3) IR活動への取組 …… 42

(1) 堺市の格付について



堺市の格付

A a 3

アウトルック：安定的

A a 3の格付けとは

- ・ 信用力が高く、信用リスクが極めて低いと判断される債務に対する格付けです
- ・ 格付けはA a aからCまで21段階あり、A a 3は上から4番目となります

BCA : a1

BCAとは

- ・ 政府による特別な救済、支援がないとした場合の信用力を判定したものです
- ・ BCAは、小文字アルファベットと数字で表され、「a1」は上から5番目となります

評価内容

- ◆ 比較的小さい債務負担と公債費
- ◆ 過去一貫した歳出削減への取組とその実績
- ◆ 地域経済の発展性

他の地方公共団体の格付け状況【ムーティーズ】

A a 3 (BCA : a1)

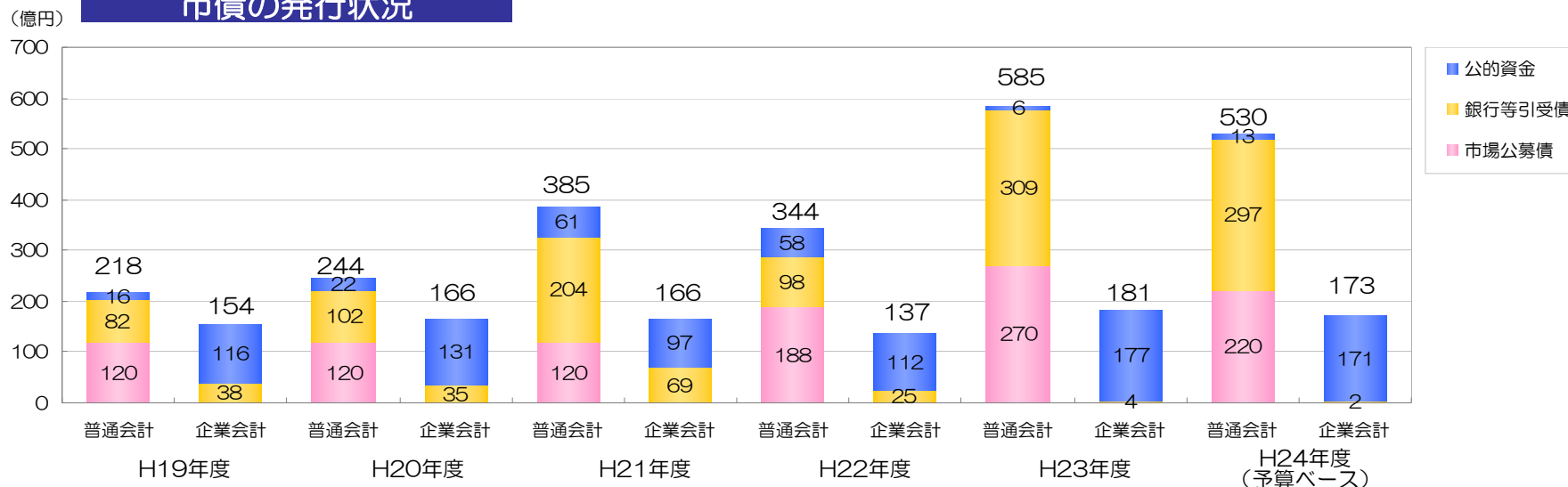
静 広 福 札 静 浜 福	岡 島 岡 幌 岡 松 岡	県 県 市 市 市 市 市
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

A a 3 (BCA : a2)

新 京 大 名	湯 都 阪 古 屋	県 市 市 市
------------------	-----------------------	------------------

(2) 市債の発行及び起債方針（全会計）

市債の発行状況



市場公募債発行予定

(単位：億円)

銘柄	下期						出納整理期間	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
10年債			100 程度					
20年債		100 程度						
5年債 (住民参加型)							20	

起債方針

- ① 全国型市場公募債については、次年度以降も、継続的に発行してまいります
- ② 市場公募債は、マーケット原理に則って条件を決定します
- ③ 満期一括償還する地方債については、総務省ルールのとおり、毎年確実に減債基金へ積立てを行います
- ④ 健全化判断比率の健全度を継続的に確保するよう、起債管理を行います

(3) IR活動への取組



- ◆ 堺市では、全庁をあげての組織的対応により、信頼性の高い情報をわかりやすく発信してまいります
- ◆ 本市ホームページのトップに「財政・市債・IR情報」のメニューを配置しています

堺市ホームページ トップ画面
<http://www.city.sakai.lg.jp/>



堺市 財政・市債・IR情報 トップ画面
http://www.city.sakai.lg.jp/city/_zaisei/index.html



財政・市債・IR情報 をクリック

お問い合わせ先

堺市は、皆様のご意見を反映したIR活動をめざしております

より詳しくお知りになりたい情報や、個別訪問等のご要望がありましたら
下記担当窓口までご連絡ください。

お問い合わせ先	：	堺市 財政局 財政部 資金課
電話	：	072-228-7191
FAX	：	072-228-7856
E-mail	：	shikin@city.sakai.lg.jp
URL	：	http://www.city.sakai.lg.jp/city/_zaisei/index.html



本資料は投資家向けに情報提供するものであり、投資に関する売買等の取引を提案、勧誘、助言するものではありません。
本資料に掲載している情報は、修正される場合があります。
本資料内のデータは、信頼できると思われる各種データに基づき作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。